
岡崎市市民意識調査

報告書

平成26年2月

岡崎市

岡崎市市民意識調査 報告書

目次

I 調査の概要.....	1
II 調査結果.....	3
A 属性.....	3
B 岡崎市のまちについて.....	4
C 公共施設について.....	22
D 市の取組に対する満足度・重要度について.....	30
E 自由回答.....	45
参考：調査票.....	57

I 調査の概要

調査内容

- ・調査対象

20歳以上の岡崎市民 5,000人
(住民基本台帳から無作為に抽出)

- ・調査方法

郵送による配布・回収

- ・調査期間

平成25年9月17日から平成25年10月11日

- ・回収状況

配布数 5,000 回収票数 2,916 回収率 58.3%

- ・調査結果の見かた

- (1) 回答結果について、比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。なお、各回答の合計が100%にならない場合は、無回答（無回答がない場合は「分からない」）の値を調整している。
- (2) 基数となるべき実数は、Nとして掲載した。すべての比率は、Nを100%として算出している。
- (3) 複数回答が可能な設問では、比率算出の基数は回答者数（票数）とし、その項目を選択した人の回答者数に対する比率を算出している。そのため、各項目の比率を合計すると100%を超える。
- (4) 各設問に対する結果レポートは、回答者の属性（居住地域、年齢）によるクロス集計結果及び過去の調査結果（平成18年度、平成20年度、平成23年度実施）との比較について記載を行っている。

調査項目

A 属性

- ・性別（問 1）
- ・年齢（問 2）
- ・職業（問 3）
- ・居住年数（問 4）
- ・家族構成（問 5）
- ・居住地域（問 6）

B 岡崎市のまちについて

- ・岡崎市の住みやすさ（問 7）
- ・住みよいと思う理由（問 7-1）
- ・住みにくいと思う理由（問 7-2）
- ・居住継続意向（問 8）
- ・市政関心度（問 9）
- ・市政に関心がある理由（問 9-1）
- ・市政に関心を持ってもらう施策（問 9-2）

C 公共施設について

- ・過去 5 年間の施設利用状況（問 10）
- ・利用した施設の種類（問 10-1）
- ・将来的な施設サービスのあり方（問 11）

D 市の取組に対する満足度・重要度について

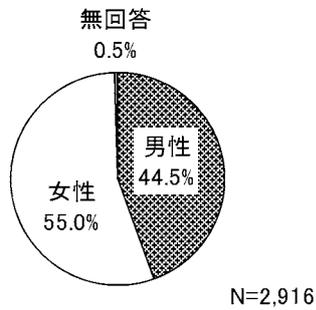
- ・市の行政施策に係る「現状の満足度」（問 12（1））
- ・市の行政施策に係る「今後の重要度」（問 12（2））

E 自由回答

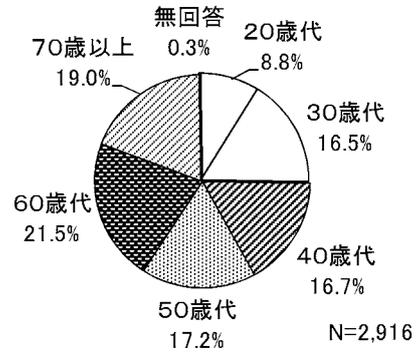
II 調査結果

A 属性

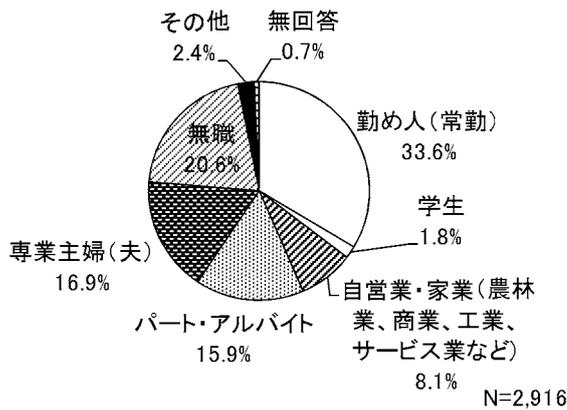
<問1 性別>



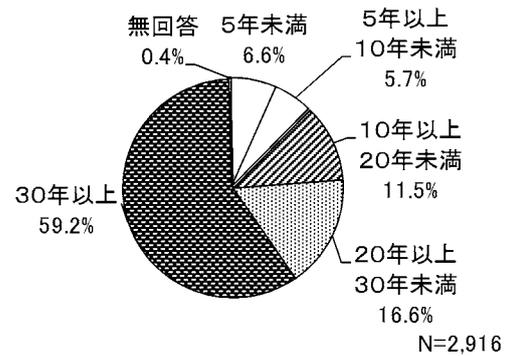
<問2 年齢>



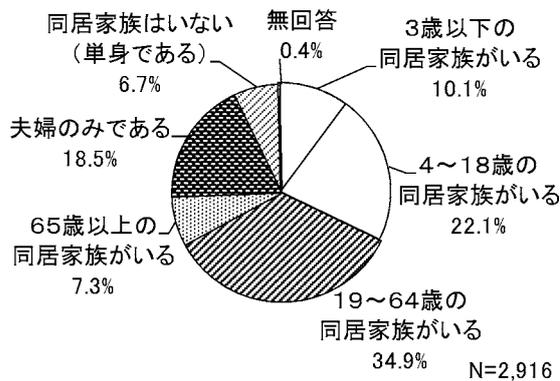
<問3 職業>



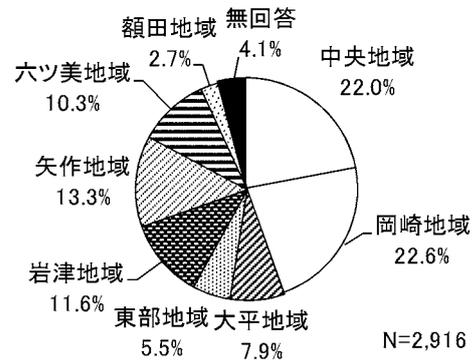
<問4 居住年数>



<問5 家族構成>



<問6 居住地域>



B 岡崎市のまちについて

問7 岡崎市の住みやすさ

岡崎市の住みやすさについてうかがったところ、「まあ住みよい」との回答が 46.6%と最も多く、「住みよい」と「まあ住みよい」を合わせると 83.6%の市民が岡崎市の生活に満足している。

平成 18 年度、平成 20 年度、平成 23 年度の経年変化をみると、「住みよい」と「まあ住みよい」を合わせた肯定的意見は平成 18 年度（80.2%）から平成 20 年度（84.0%）にかけて増加し、その後は平成 23 年度（83.2%）に一時的な減となるが、平成 25 年度（83.6%）は回復傾向となっており、すべてに 80%強を維持している。

一方、「住みにくい」「やや住みにくい」を合わせた否定的な意見は平成 18 年度（16.6%）、平成 20 年度（14.1%）、平成 23 年度（14.7%）、平成 25 年度（15.0%）と推移し、平成 20 年度以降微増傾向にある。

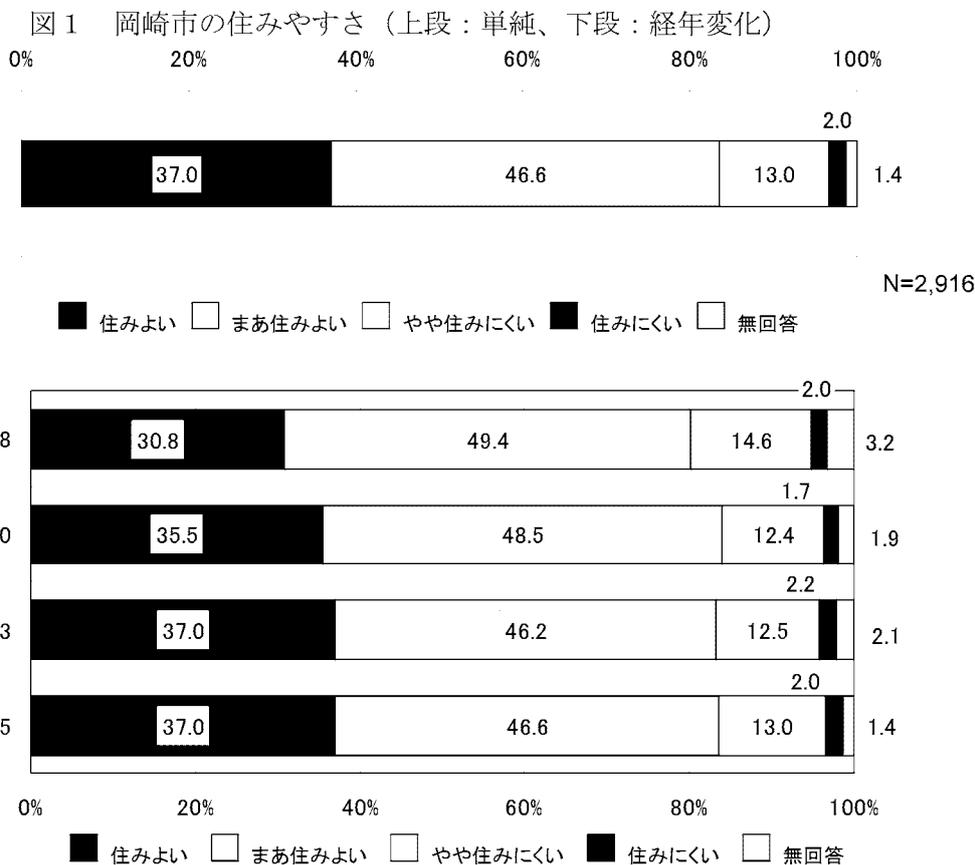
問7

あなたは、岡崎市を住みよいまちだと思いますか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

表1 岡崎市の住みやすさ

(単位: 人、%)

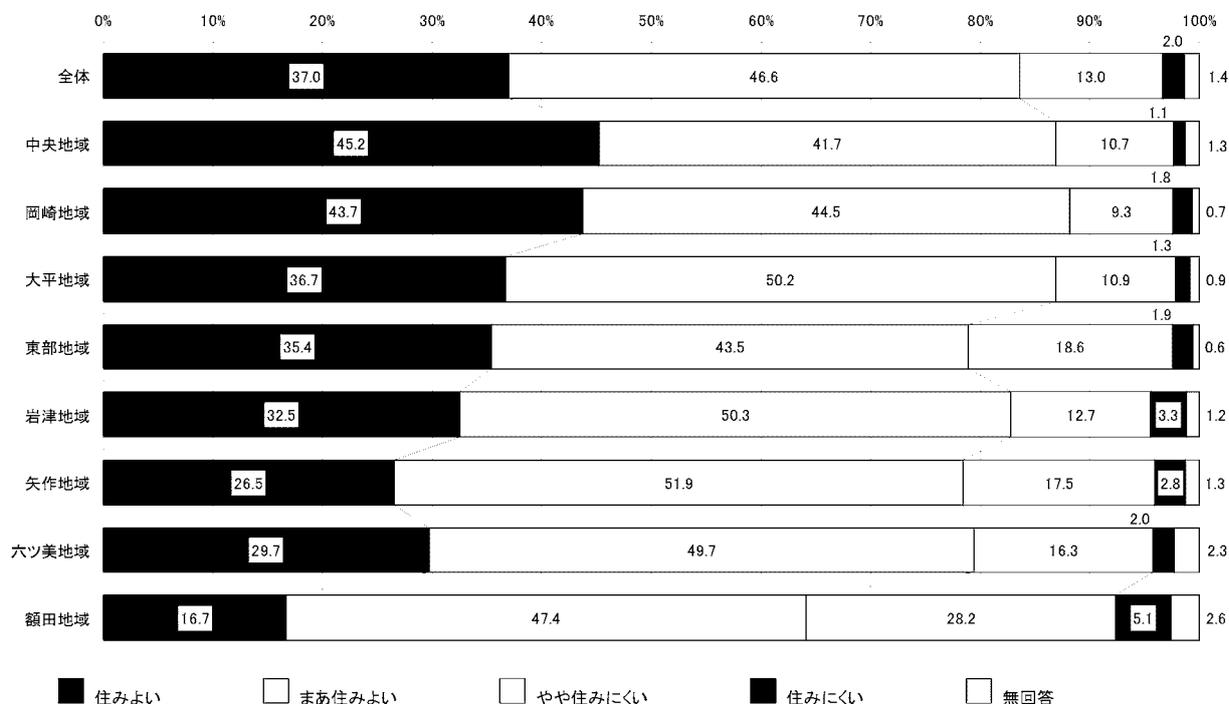
	全体	住みよい	まあ住みよい	やや住みにくい	住みにくい	無回答
回答者数	2,916	1,079	1,359	380	58	40
割合	100.0	37.0	46.6	13.0	2.0	1.4



<地域別>

地域別にみると、「住みよい」との回答割合が高いのは中央地域（45.2%）、岡崎地域（43.7%）で、「住みにくい」との回答割合が高いのは額田地域（5.1%）となっている。

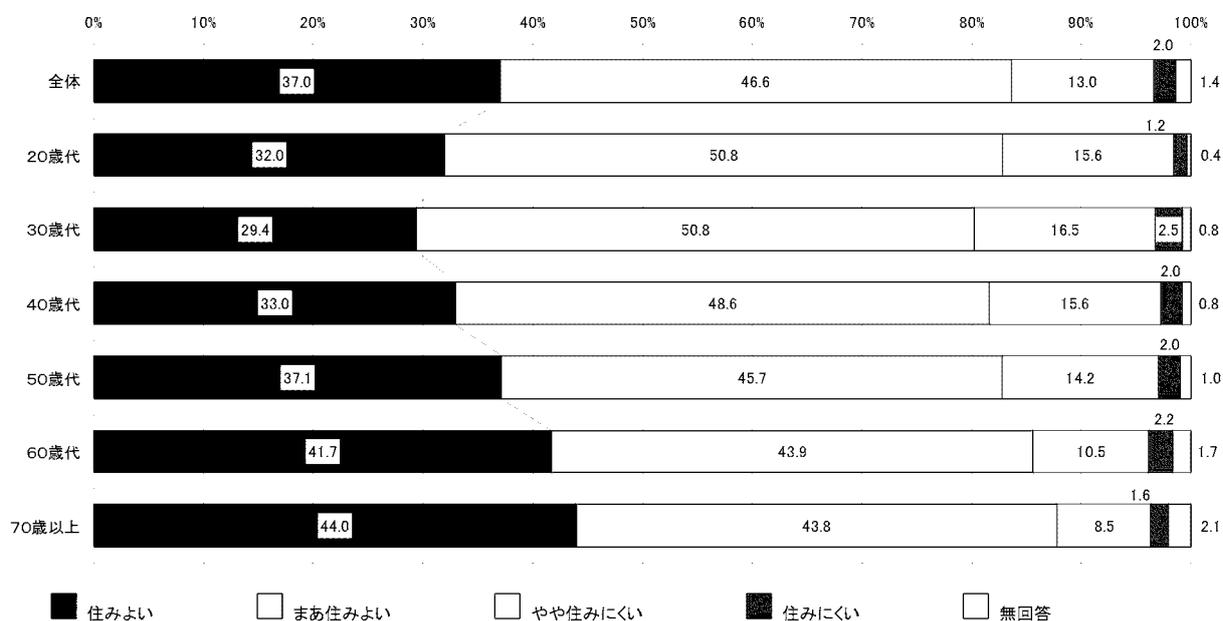
図1a 岡崎市の住みやすさ（地域別）



<年齢別>

年齢別にみると、「住みよい」との回答割合は、年齢が高いほど高い傾向が表れており、20歳代では32.0%であるのに対し、70歳以上では44.0%となっている。

図1b 岡崎市の住みやすさ（年齢別）



問7-1 住みよいと思う理由

問7で「住みよい」「まあ住みよい」と答えた人に住みよいと思う理由をうかがったところ、「買い物便利である」との回答が55.0%ともっとも多く、次いで「交通の便がよい」との回答が多くなっている(40.4%)。

問7-1(問7で「住みよい」、「まあ住みよい」と回答した方のみ)

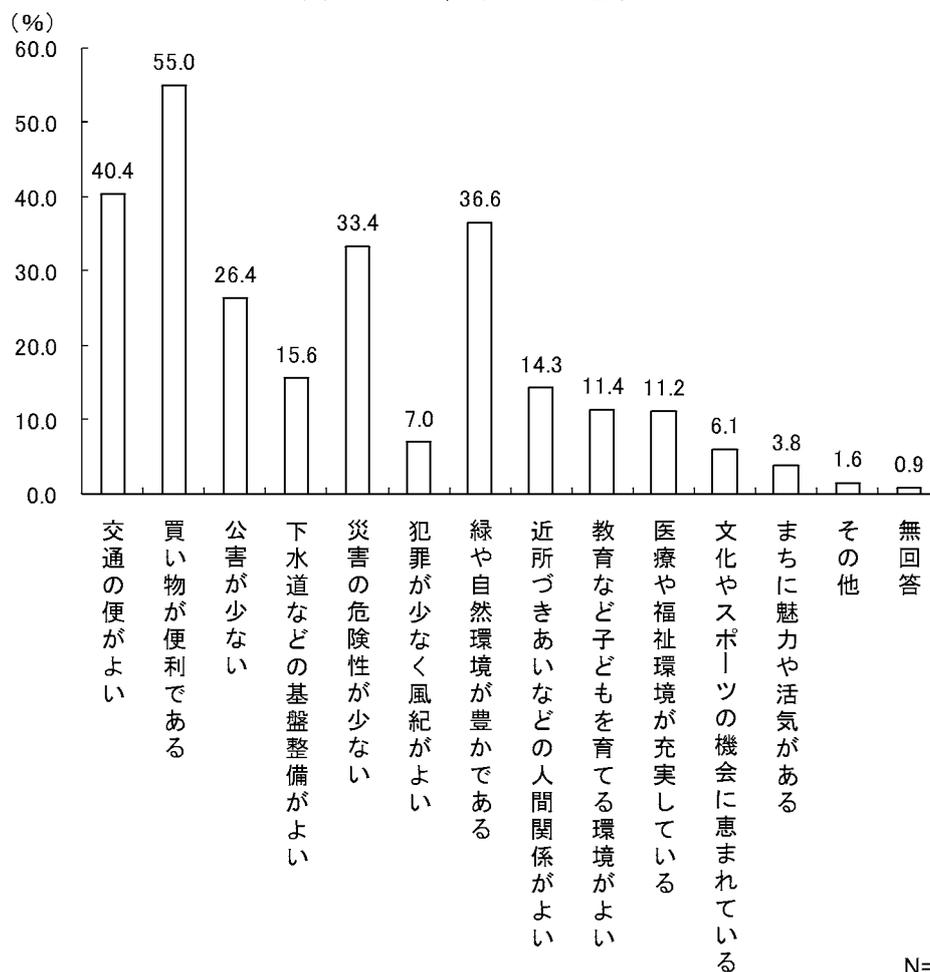
それはどういった理由からですか。次の中から主なものを最大3つまで選び、その番号を○で囲んでください。

表1-1 住みよいと思う理由

(単位:人、%)

	全体	交通の便がよい	買い物便利である	公害が少ない	下水道などの基盤整備がよい	災害の危険性が少ない	犯罪が少なく風紀がよい	緑や自然環境が豊かである	近所づきあいなどの人間関係がよい	教育など子どもを育てる環境がよい	医療や福祉環境が充実している	文化やスポーツの機会に恵まれている	まちに魅力や活気がある	その他	無回答
回答者数	2,438	986	1,340	643	380	814	171	892	349	279	272	149	92	39	21
割合	100.0	40.4	55.0	26.4	15.6	33.4	7.0	36.6	14.3	11.4	11.2	6.1	3.8	1.6	0.9

図1-1 住みよいと思う理由



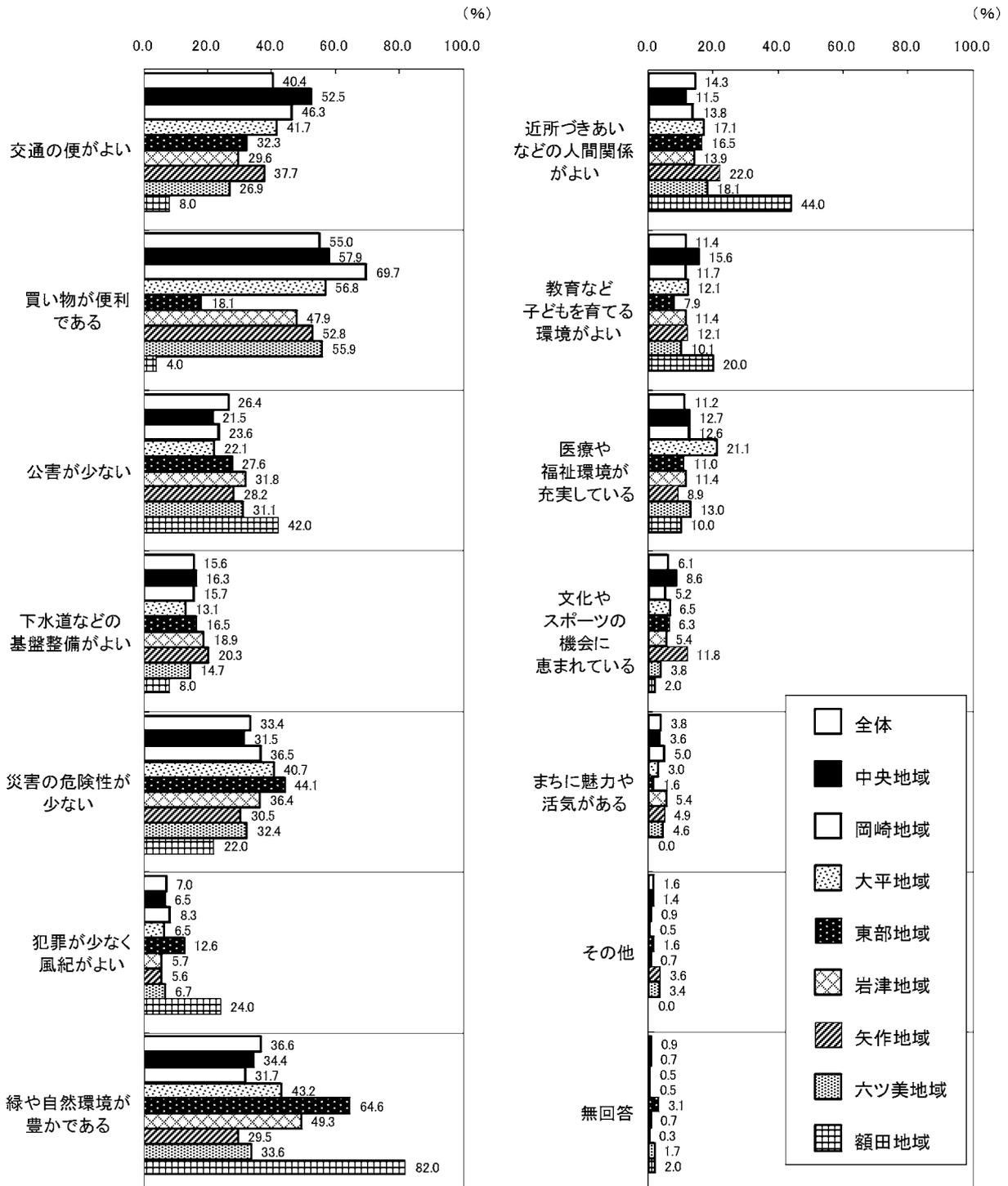
<地域別>

地域別にみると、全体でもっとも多かった「買い物が便利である」との回答は岡崎地域で多く、69.7%となっている。一方、額田地域、東部地域においては、それぞれ4.0%、18.1%と低くなっている。

全体で次に多かった「交通の便がよい」との回答は中央地域で多く、52.5%となっている。一方、額田地域においては8.0%と特に低くなっている。

「緑や自然環境が豊かである」との回答は、全体で3割半ばであるのに対し、額田地域では82.0%、東部地域で64.6%と特に多くなっている。

図1-1a 住みよいと思う理由（地域別）



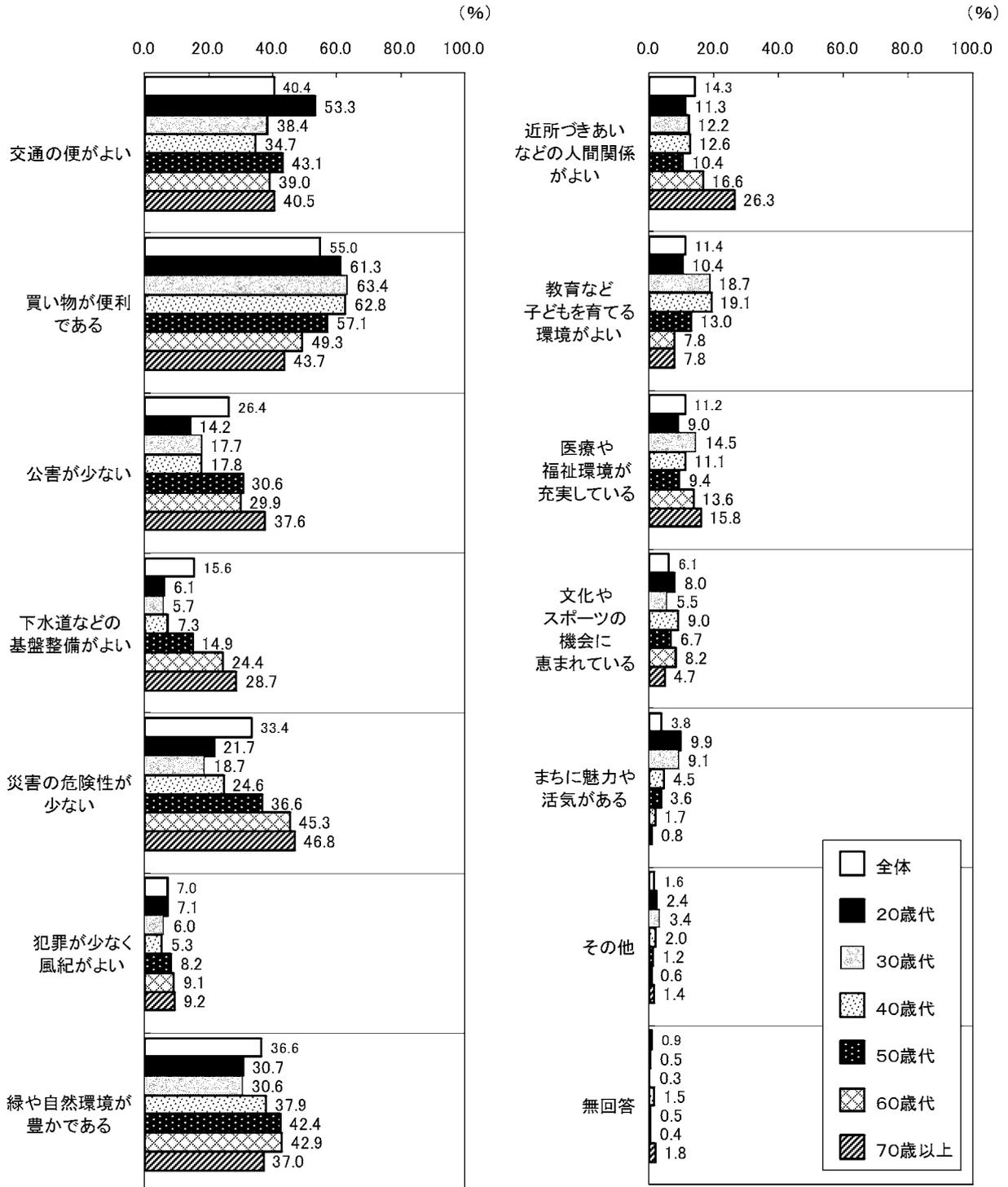
<年齢別>

年齢別にみると、全体でもっとも多かった「買い物が便利である」との回答は、30歳代、40歳代で多く、それぞれ63.4%、62.8%と6割を超えている。30歳代以上は年齢が高くなるほど「買い物が便利である」との回答が少なくなっている。

また、全体で次に多かった「交通の便がよい」との回答は20歳代で多く、53.3%となっている。

一方、「災害の危険性が少ない」との回答は年齢が高くなるほど多くなる傾向があり、60歳代で45.3%、70歳以上で46.8%となっている。

図1-1b 住みよいと思う理由（年齢別）



問7-2 住みにくいと思う理由

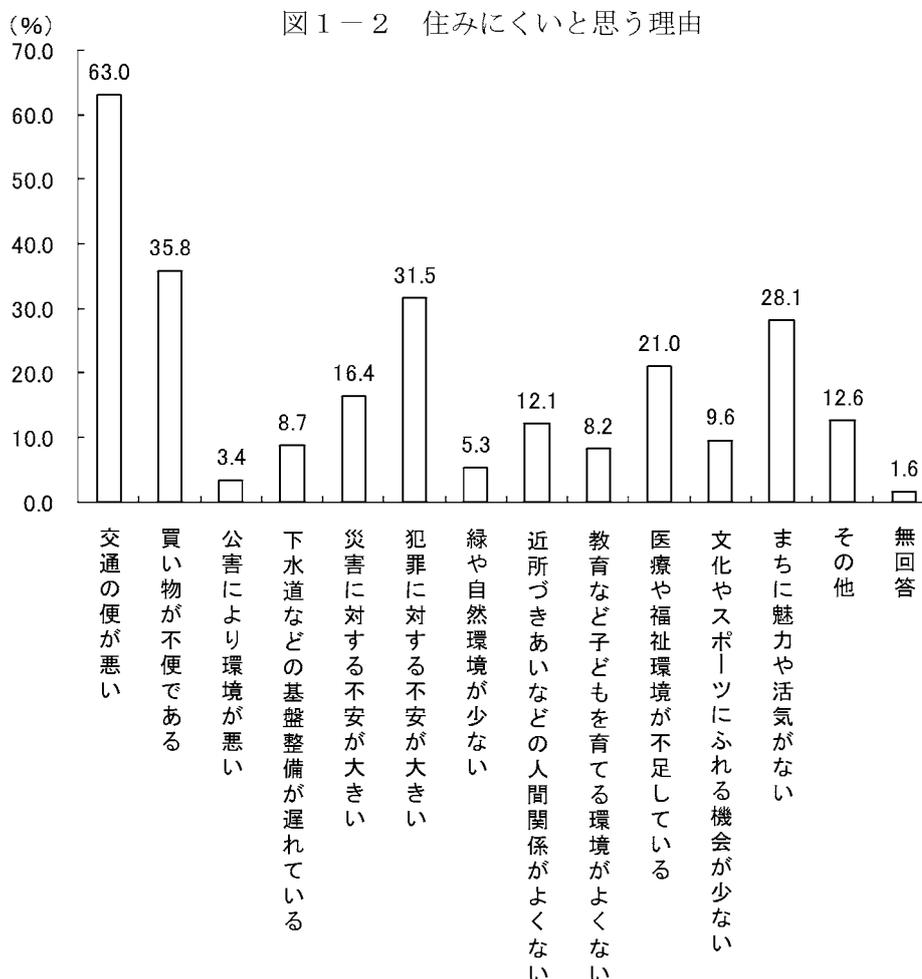
問7で「やや住みにくい」、「住みにくい」と答えた人に、住みにくいと思う理由についてうかがったところ、「交通の便が悪い」との回答が63.0%となっており、他の理由と大きく差が開いている。次に多い理由は「買い物が不便である」となっている(35.8%)。問7-1住みよと思う理由では、「交通の便がよい」、「買い物が便利である」との回答がそれぞれ2番目、1番目に位置していることから、岡崎市における住みやすさ及び住みにくさは、交通及び買い物の便に起因すると考えられる。

問7-2(問7で「やや住みにくい」、「住みにくい」と回答した方のみ)
それはどういった理由からですか。次の中から主なものを最大3つまで選び、その番号を○で囲んでください。

表1-2 住みにくいと思う理由

(単位:人、%)

	全体	交通の便が悪い	買い物が不便である	公害により環境が悪い	下水道などの基盤整備が遅れている	災害に対する不安が大きい	犯罪に対する不安が大きい	緑や自然環境が少ない	近所づきあいなどの人間関係がよくない	教育など子どもを育てる環境がよくない	医療や福祉環境が不足している	文化やスポーツにふれる機会が少ない	まちに魅力や活気がない	その他	無回答
回答者数	438	276	157	15	38	72	138	23	53	36	92	42	123	55	7
割合	100.0	63.0	35.8	3.4	8.7	16.4	31.5	5.3	12.1	8.2	21.0	9.6	28.1	12.6	1.6

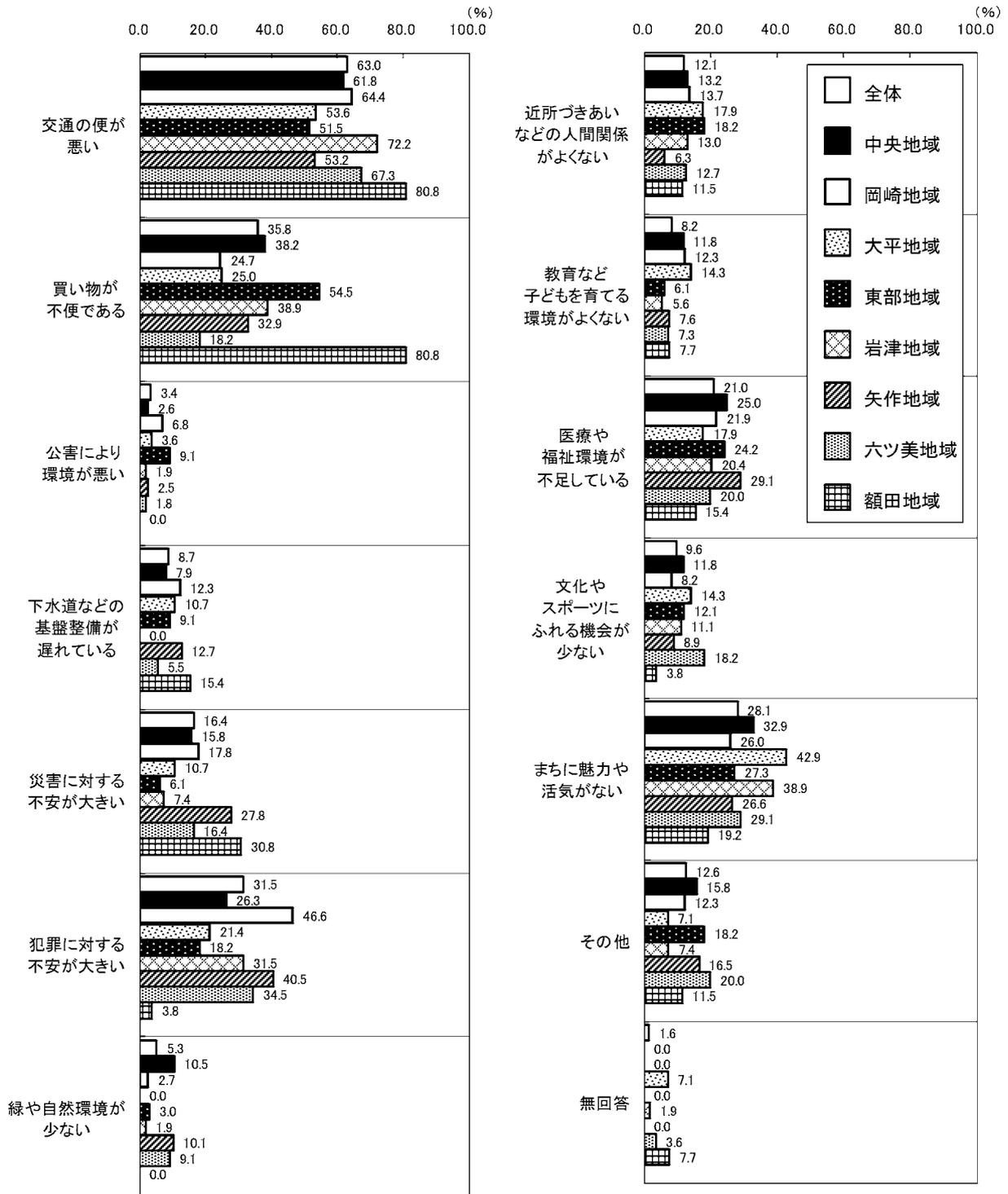


<地域別>

地域別にみると、「交通の便が悪い」との回答が多かったのは額田地域で、80.8%となっている。また、岩津地域も72.2%と高い数値となっている。岡崎市中心部へ行く機会が多いものの、公共交通機関および幹線道路へのアクセスが悪いことが要因となっている可能性があると考えられる。中央地域や岡崎地域の市の中心部に近い地域で「交通の便が悪い」との回答も多くなっており、中心部における交通渋滞が一因と考えられる。

「買い物が不便である」との回答が多かったのは、額田地域(80.8%)、東部地域(54.5%)である。

図1-2a 住みにくいと思う理由(地域別)

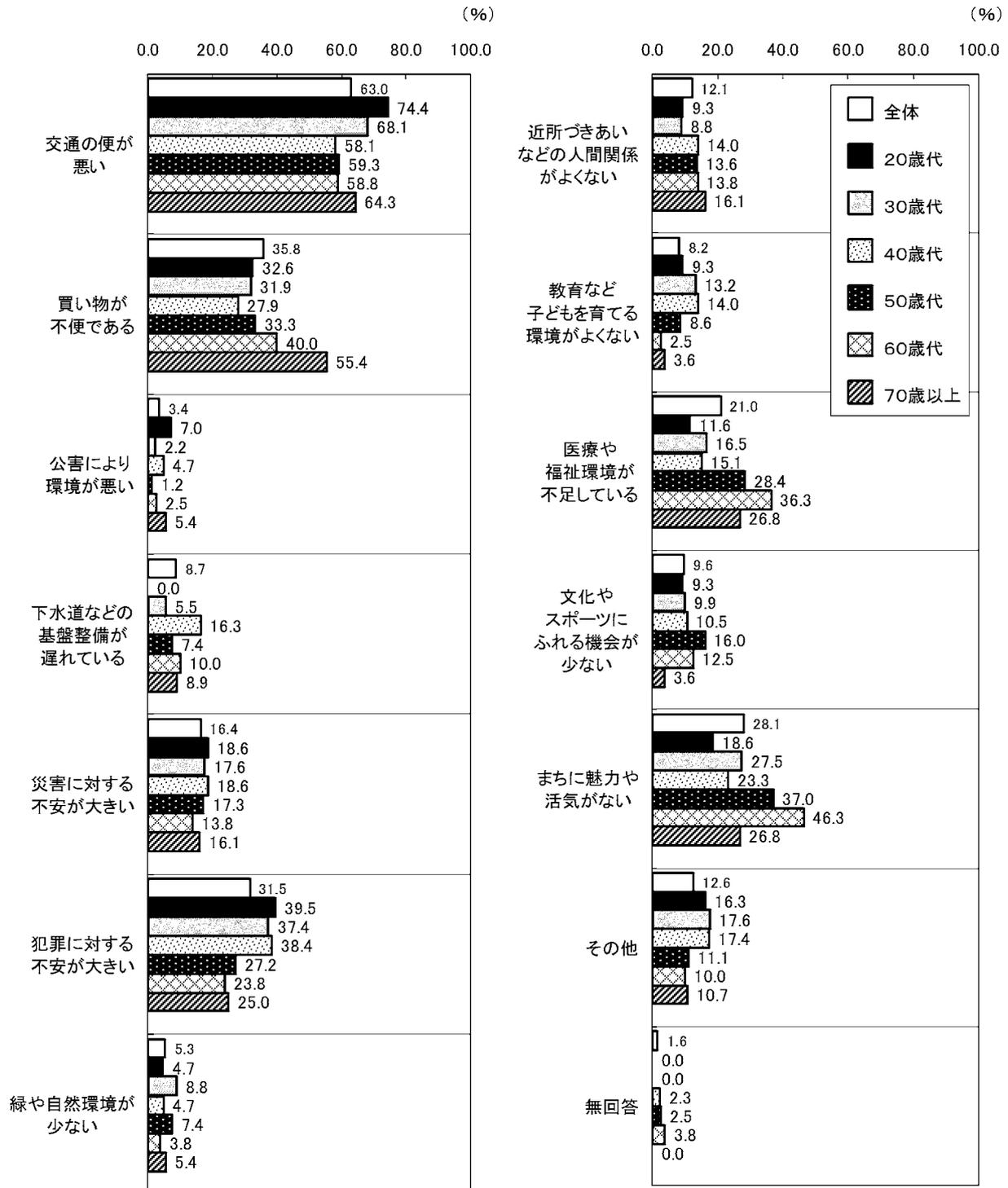


<年齢別>

年齢別にみると、「交通の便が悪い」との回答が多かったのは20歳代と30歳代で、特に20歳代では7割を超えている。「交通の便が悪い」との回答は他の年齢でも約6割となっている。

70歳以上では「買い物が不便である」との回答が5割半ば（55.4%）と高くなっている。「医療や福祉環境が不足している」「まちに魅力や活気がない」との回答割合も高年層で高くなる傾向にある。

図1-2b 住みにくいと思う理由（年齢別）



問8 居住継続意向

今後の居住継続に対する意向をうかがったところ、「ずっと住んでいたい」との回答が59.9%と多く、「しばらくは住むつもりだ」(23.5%)、「市内の他の地域に移りたい」(1.7%)を含めて、8割半ばの市民が引き続き岡崎市に住み続けたいと回答している。

平成18年度、平成20年度、平成23年度の経年変化をみると、「ずっと住んでいたい」「しばらくは住むつもりだ」を合わせた市内居住に対する肯定的意見は平成18年度(84.3%)、平成20年度(84.4%)、平成23年度(83.4%)、平成25年度(83.4%)とほぼ一定であり、8割を超えている。

また、「市外に移りたい」という市内居住に対する否定的意見も平成18年度(2.2%)、平成20年度(2.3%)、平成23年度(2.1%)、平成25年度(2.0%)とほぼ一定である。

問8

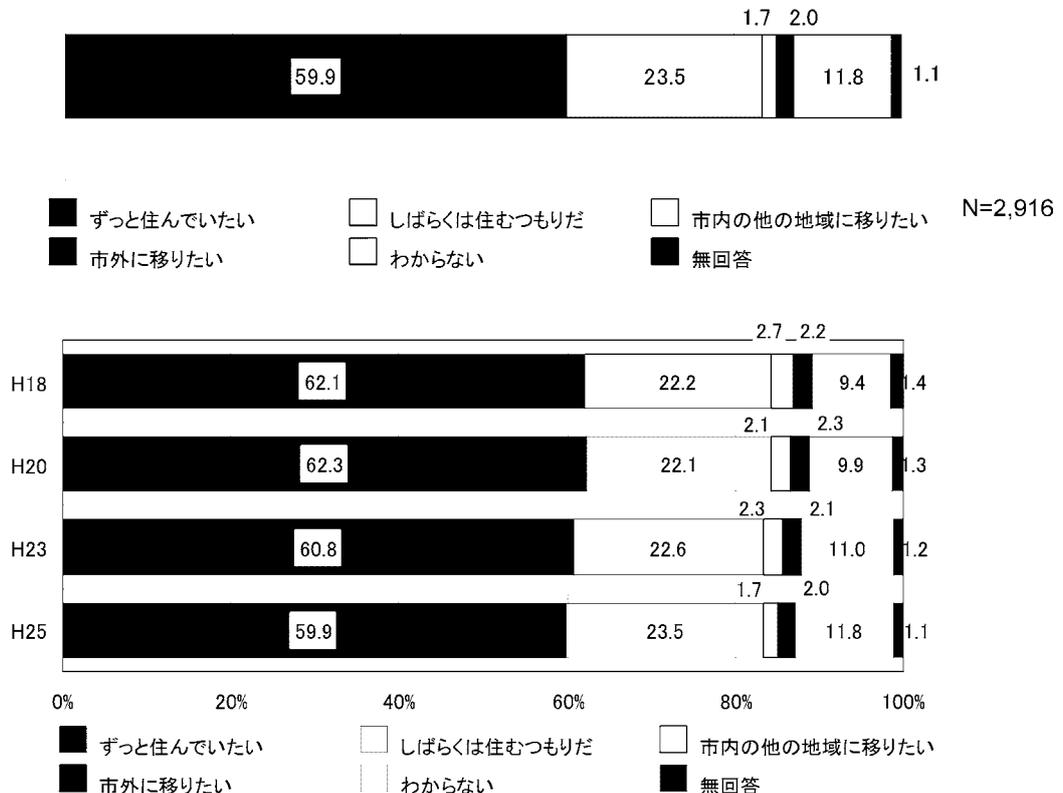
あなたは今後も岡崎市に住み続けたいと思いますか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

表2 居住継続意向

(単位:人、%)

	全体	ずっと住んでいたい	しばらくは住むつもりだ	市内の他の地域に移りたい	市外に移りたい	わからない	無回答
回答者数	2,916	1,747	686	51	57	343	32
割合	100.0	59.9	23.5	1.7	2.0	11.8	1.1

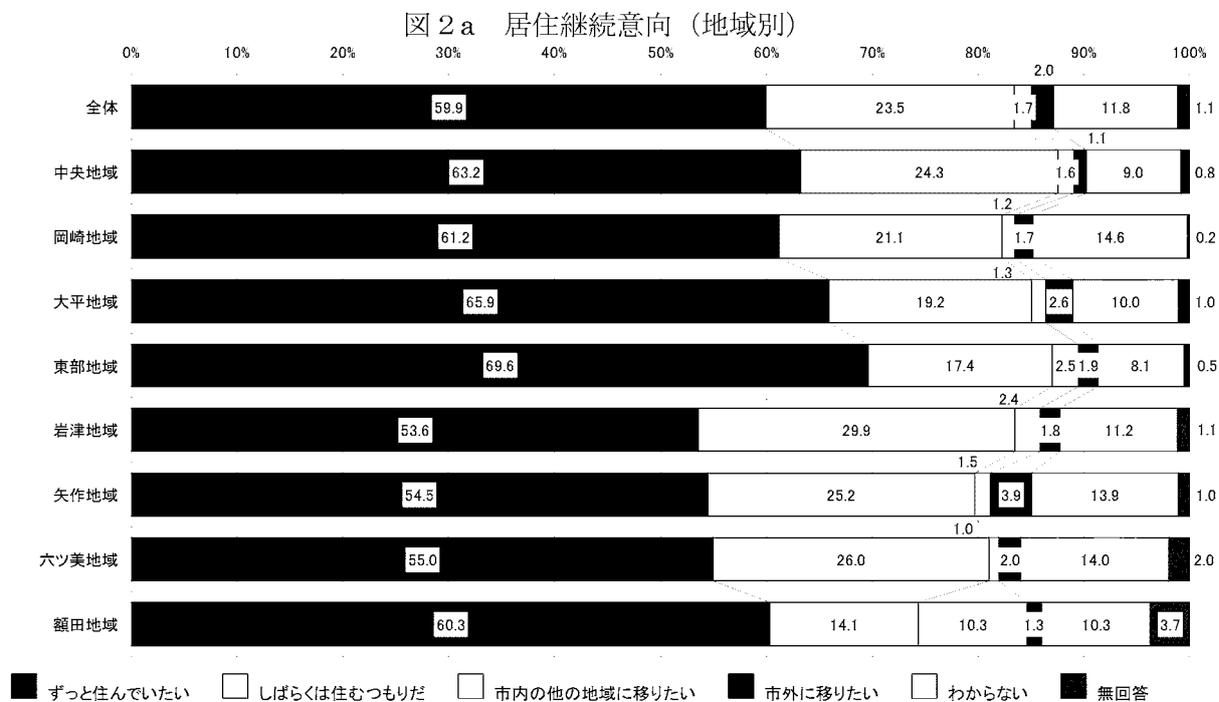
図2 居住継続意向 (上段:単純、下段:経年変化)



<地域別>

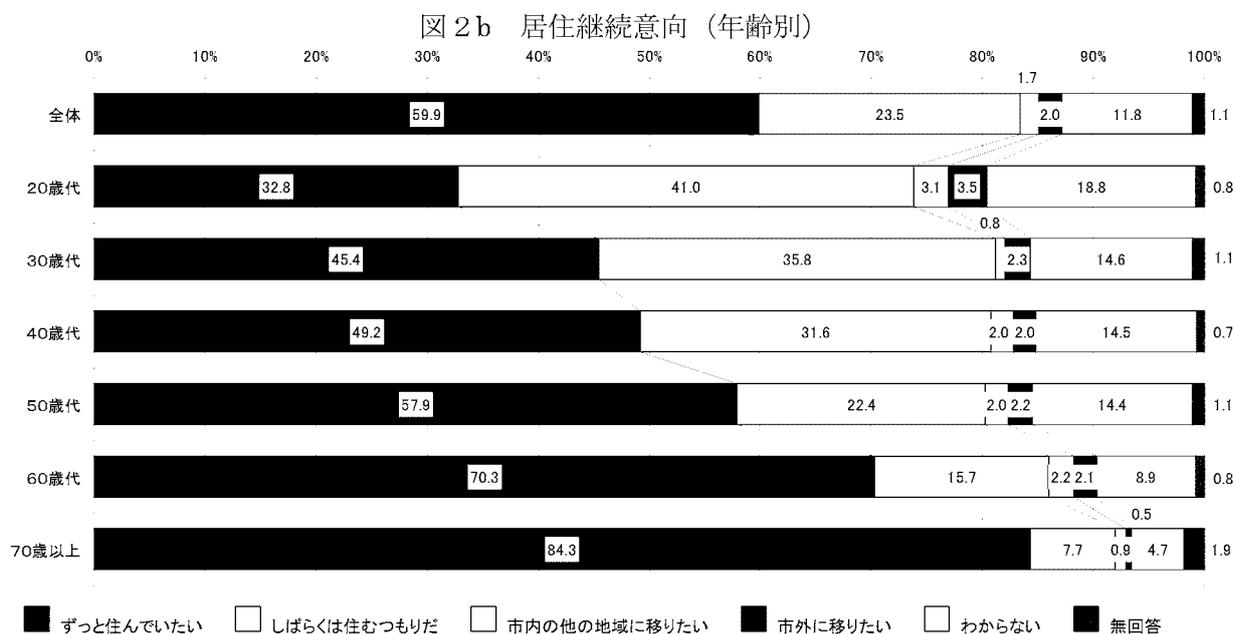
地域別にみると、「ずっと住んでいたい」との回答割合が高いのは、東部地域（69.6%）、次いで大平地域（65.9%）となっているのに対し、もっとも低いのは岩津地域で53.6%となっている。

一方で、「市外に移りたい」との回答割合が他地域と比して若干高かったのは、矢作地域（3.9%）、大平地域（2.6%）、六ツ美地域（2.0%）となっている。



<年齢別>

年齢別にみると、「ずっと住んでいたい」との回答は、年齢が高くなるにつれて割合が高くなっており、20歳代では32.8%であるのに対し、70歳以上では84.3%となっており、20歳代の約2.5倍となっている。一方、「市外に移りたい」との回答割合は20歳代で3.5%と、他の年齢と比して高くなっている。



問9 市政関心度

市政に対する関心度をうかがったところ、「ある程度関心がある」との回答が 53.2%と最も多く、「非常に関心がある」と合わせて 62.2%の市民が市政に関心を寄せていることが読み取れる。

平成 18 年度、平成 20 年度、平成 23 年度の経年変化をみると、「非常に関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた市政に対する関心のある層は、平成 18 年度 (65.6%)、平成 20 年度 (69.2%)、平成 23 年度 (66.1%)、平成 25 年度 (62.2%) と、概ね高水準にあるが、平成 20 年度以降減少傾向にある。

一方で「まったく関心がない」「あまり関心がない」を合わせた市政に対して関心のない層は、平成 18 年度 (31.5%) から平成 20 年度 (28.4%) にかけて減少したが、平成 23 年度 (31.9%)、平成 25 年度 (36.5%) と平成 20 年度以降は増加傾向にある。

市政への市民の関心は概ね高水準ではあるが減少傾向にあり、関心のない層は増加傾向にあるといえる。

問9

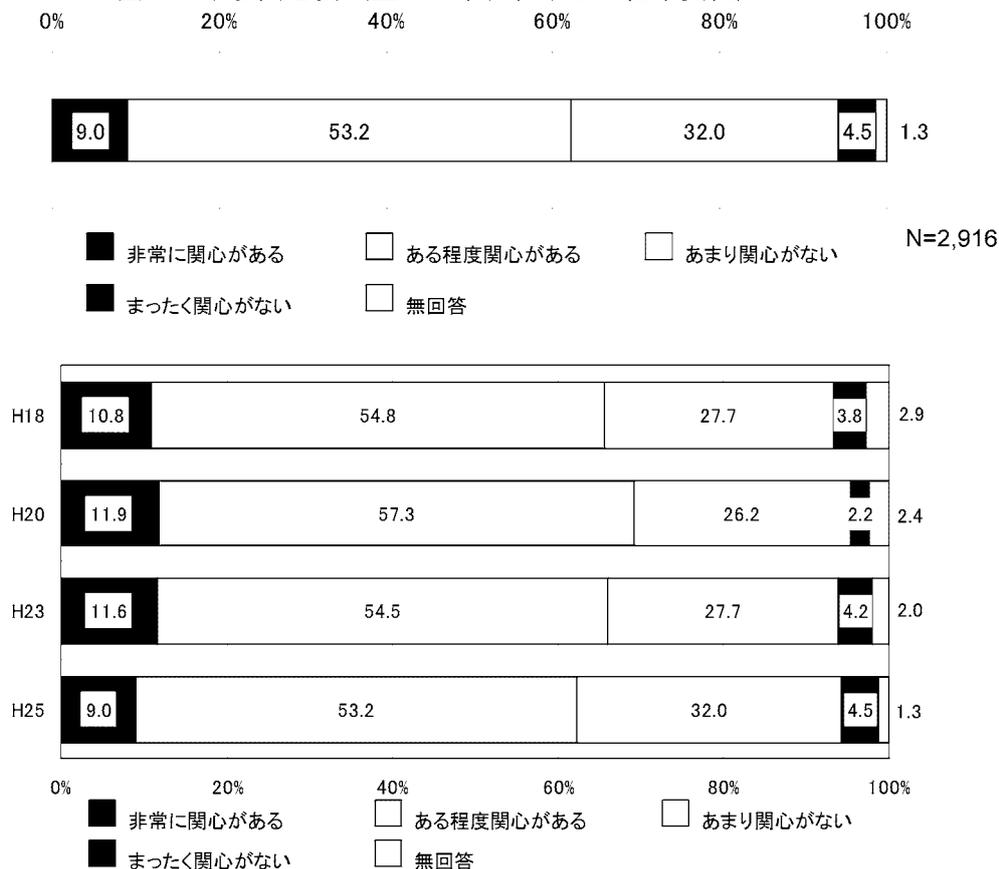
あなたは岡崎市の市政に関心をお持ちですか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

表3 市政関心度

(単位:人、%)

	全体	非常に関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	まったく関心がない	無回答
回答者数	2,916	261	1,551	934	130	40
割合	100.0	9.0	53.2	32.0	4.5	1.3

図3 市政関心度 (上段:単純、下段:経年変化)

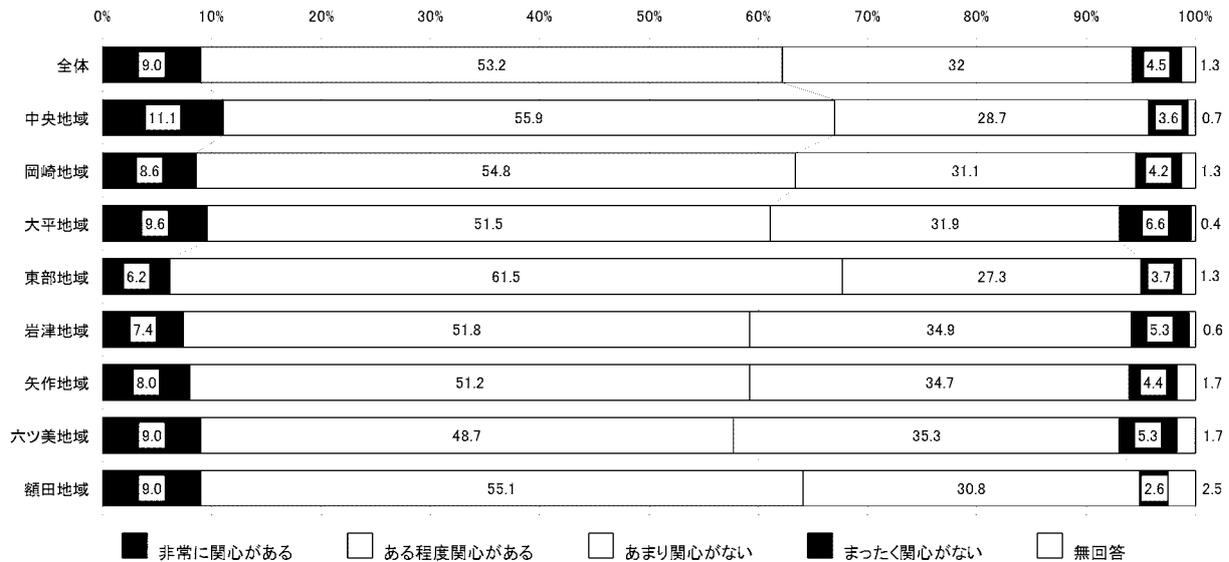


<地域別>

地域別にみると、「非常に関心がある」、「ある程度関心がある」との回答を合わせると、東部地域（67.7%）、中央地域（67.0%）、額田地域（64.1%）の順で多くなっている。なお、中央地域では「非常に関心がある」との回答が11.1%ともっとも多くなっている。

一方で、「あまり関心がない」、「まったく関心がない」との回答を合わせると、六ツ美地域（40.6%）、岩津地域（40.2%）、矢作地域（39.1%）の順で高くなっている。「まったく関心がない」との回答は、大平地域（6.6%）、岩津地域（5.3%）、六ツ美地域（5.3%）で多くなっている。

図3a 市政関心度（地域別）

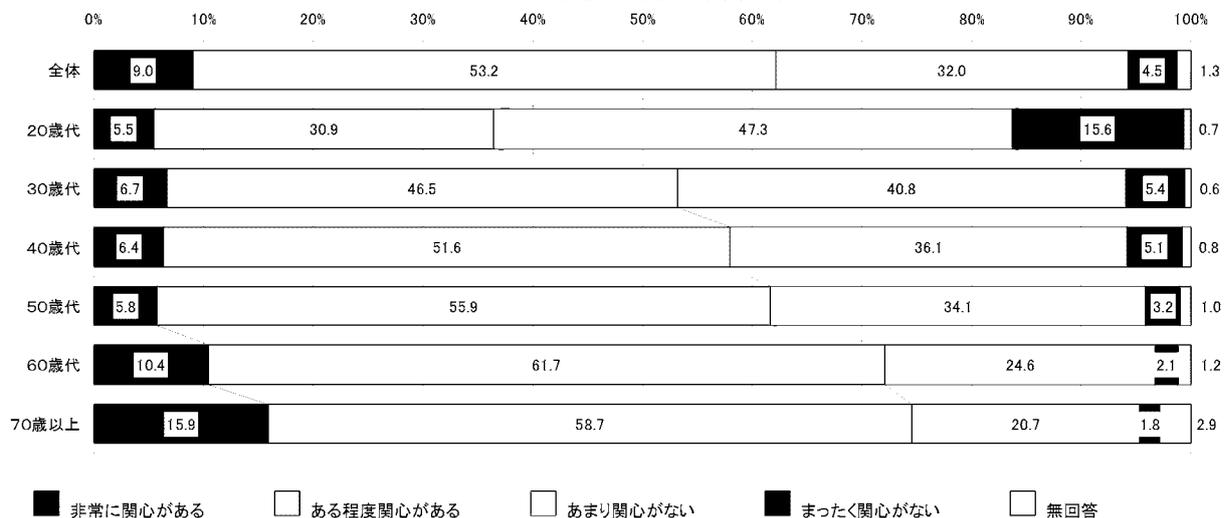


<年齢別>

年齢別にみると、「非常に関心がある」「ある程度関心がある」との回答は、年齢が高くなるにつれて多くなっている。20歳代では36.4%であるが、30歳代から50歳代は5割から6割、60歳代と70歳以上は7割強と、概ね三層構造になっていることが見て取れる。また、60歳代、70歳以上の年齢層では、「非常に関心がある」との回答の割合が、10.4%、15.9%と高い値を示している。

一方、「まったく関心がない」との回答は20歳代で非常に多く15.6%であり、全年代の平均（4.5%）の約3.5倍となっている。若年層に対して市政に関心をもってもらうための取組が課題といえる。

図3b 市政関心度（年齢別）



問9-1 市政に関心がある理由

問9で、市政に「非常に関心がある」、「ある程度関心がある」と答えた人に関心がある理由をうかがったところ、「自分の暮らし向きに直接関係がある」(51.7%)との回答と、「自分の住む岡崎市をもっとよくしたい」(35.4%)との回答が大半を占めている。

平成18年度、平成20年度、平成23年度の経年変化をみると、「自分の暮らし向きに直接関係がある」が平成18年度(44.7%)、平成20年度(48.8%)、平成23年度(48.3%)、平成25年度(51.7%)と増加傾向にある。一方、「自分の住む岡崎市をもっとよくしたい」は平成18年度(40.6%)、平成20年度(38.8%)、平成23年度(36.2%)、平成25年度(35.4%)と減少傾向にある。

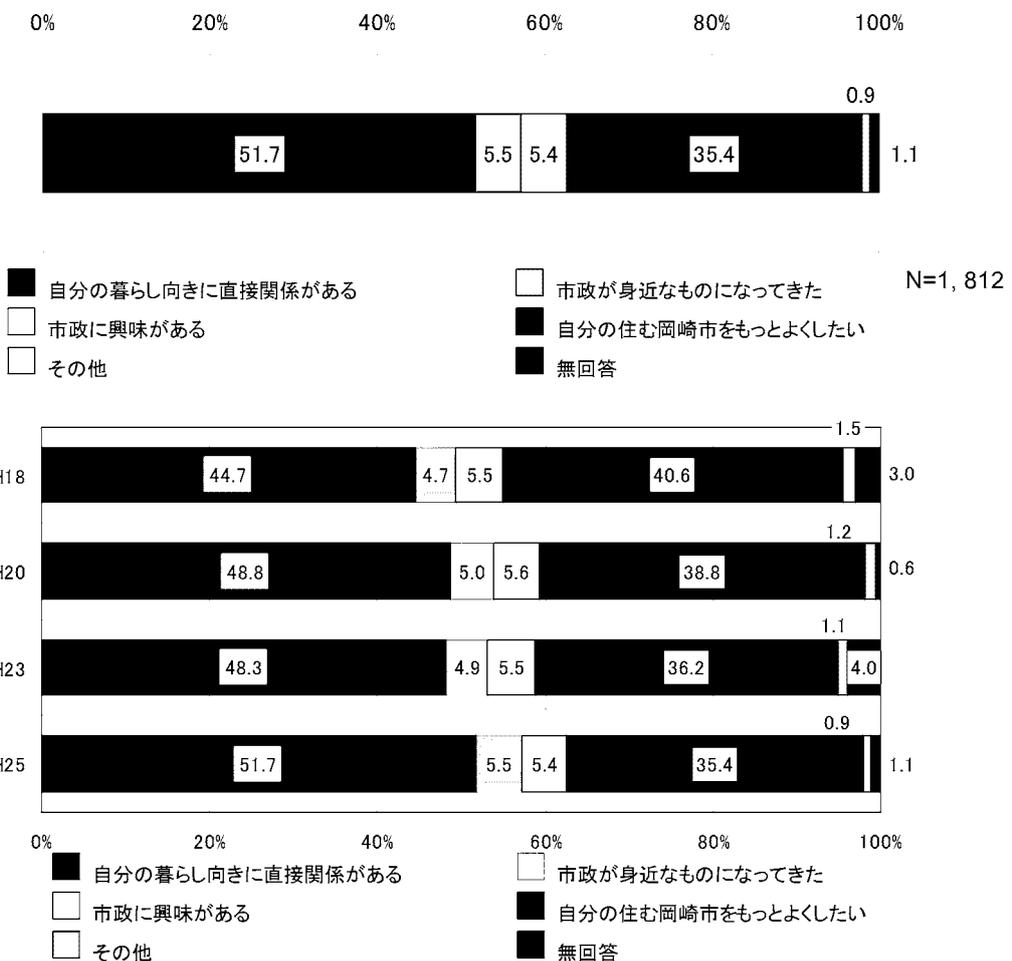
問9-1(問9で「非常に関心がある」、「ある程度関心がある」と回答した方のみ)
それはどういった理由からですか。次の中から主なものを1つ選び、その番号を○で囲んでください。

表3-1 市政に関心がある理由

(単位:人、%)

	全体	自分の暮らし向きに直接関係がある	市政が身近なものになってきた	市政に興味がある	自分の住む岡崎市をもっとよくしたい	その他	無回答
回答者数	1,812	936	100	98	642	17	19
割合	100.0	51.7	5.5	5.4	35.4	0.9	1.1

図3-1 市政に関心がある理由 (上段:単純、下段:経年変化)

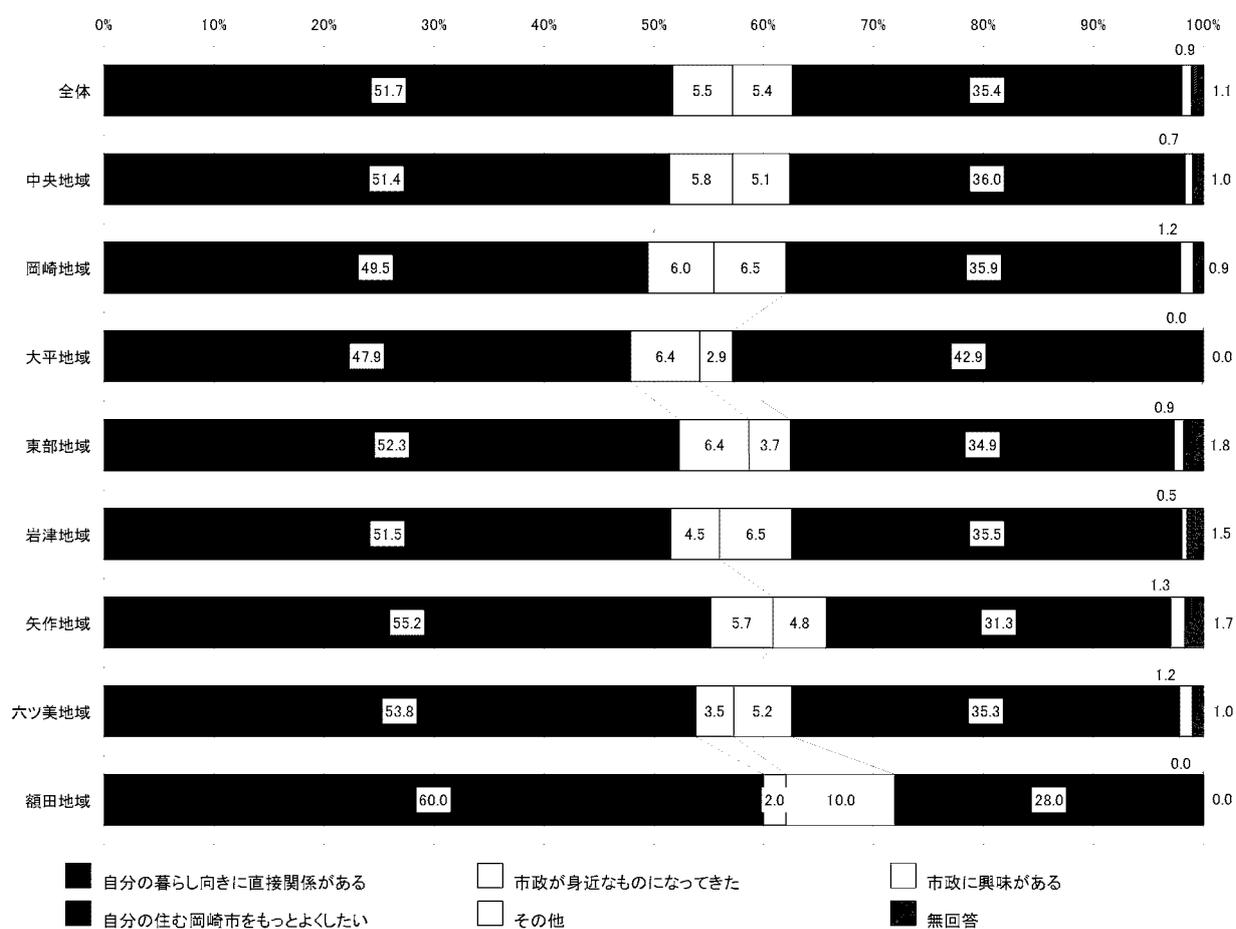


<地域別>

地域別にみると、「自分の暮らし向きに直接関係がある」との回答が多かったのは、順に額田地域（60.0%）、矢作地域（55.2%）、六ツ美地域（53.8%）となっている。また、「自分の住む岡崎市をもっとよくしたい」との回答が多かったのは大平地域（42.9%）、中央地域（36.0%）、岡崎地域（35.9%）である。

「自分の暮らし向きに直接関係がある」の回答では、回答割合の高い地域（額田地域：60.0%）と回答割合の低い地域（大平地域：47.9%）との差が12.1ポイントである。また、「自分の住む岡崎市をもっとよくしたい」の回答では、回答割合の高い地域（大平地域：42.9%）と回答割合の低い地域（額田地域：28.0%）との差が14.9ポイントである。「自分の住む岡崎市をもっとよくしたい」の回答と、「自分の暮らし向きに直接関係がある」との回答を比べると、地域差は同程度である。

図3-1a 市政に関心がある理由（地域別）



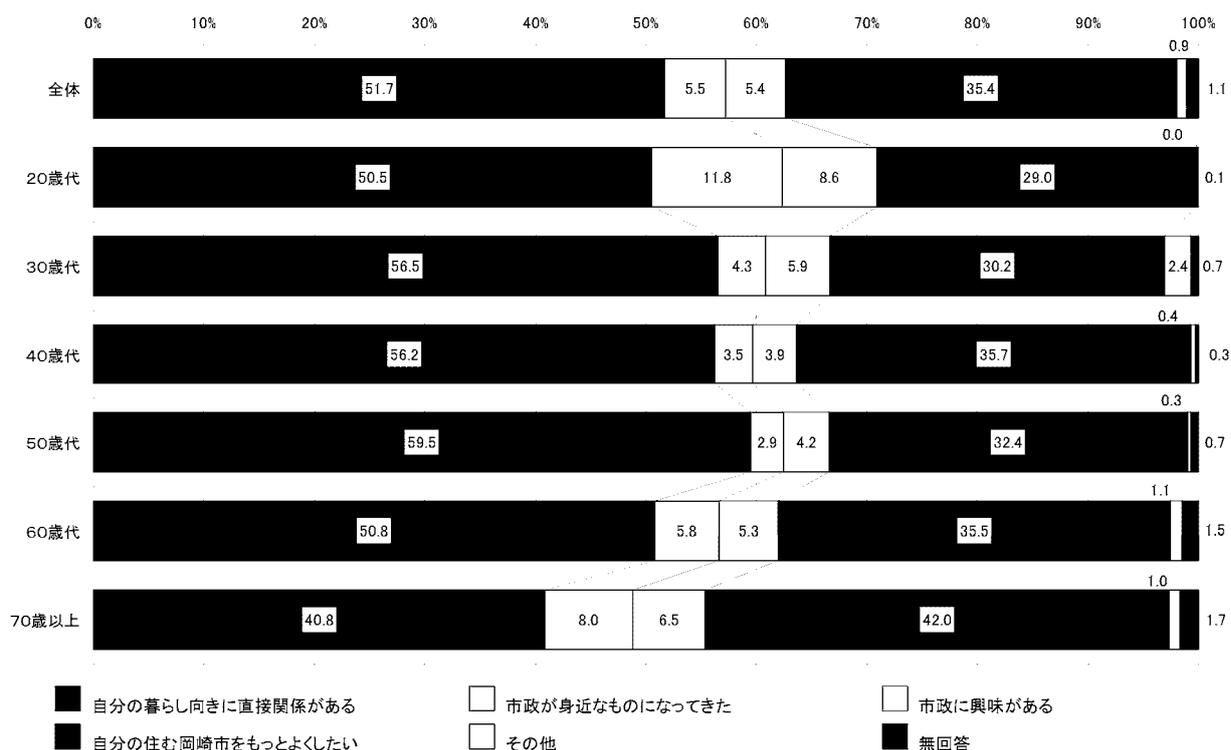
<年齢別>

年齢別にみると、20歳代から60歳代にかけては、「自分の暮らし向きに直接関係がある」との回答が50%を超えており、50歳代以上は加齢とともに減少している。

「自分の住む岡崎市をもっとよくしたい」との回答は70歳以上でもっとも多く、42.0%となっている。一方、40歳代、60歳代は3割半ば、20歳代と30歳代では約3割と低くなっている。

また、「市政が身近なものになってきた」、「市政に興味がある」との回答は、20歳代でそれぞれ11.8%、8.6%となっており、他の年齢と比べて高い。なお、40歳代、50歳代ではこれらの割合が低くなっている。

図3-1b 市政に関心がある理由（年齢別）



問9-2 市政に関心を持ってもらう施策

問9で、市政に「あまり関心がない」、「まったく関心がない」と答えた人に、市政に関心を持ってもらうための施策についてうかがったところ、「岡崎市をもっと魅力的なまちにする」との回答が41.2%ともっとも多くなっており、他の選択肢に大差をつけている。次いで「いろいろなメディアを使って市政をPRする」(15.1%)が多くなっている。

平成18年度、平成20年度、平成23年度の経年変化をみると、「岡崎市をもっと魅力的なまちにする」は平成18年度(42.3%)、平成20年度(39.2%)、平成23年度(35.7%)と減少していたが、平成25年度(41.2%)は回復傾向にある。また、「いろいろなメディアを使って市政をPRする」は平成18年度(14.2%)、平成20年度(14.0%)、平成23年度(14.1%)とほぼ一定であったが、平成25年度に増加している(15.1%)。

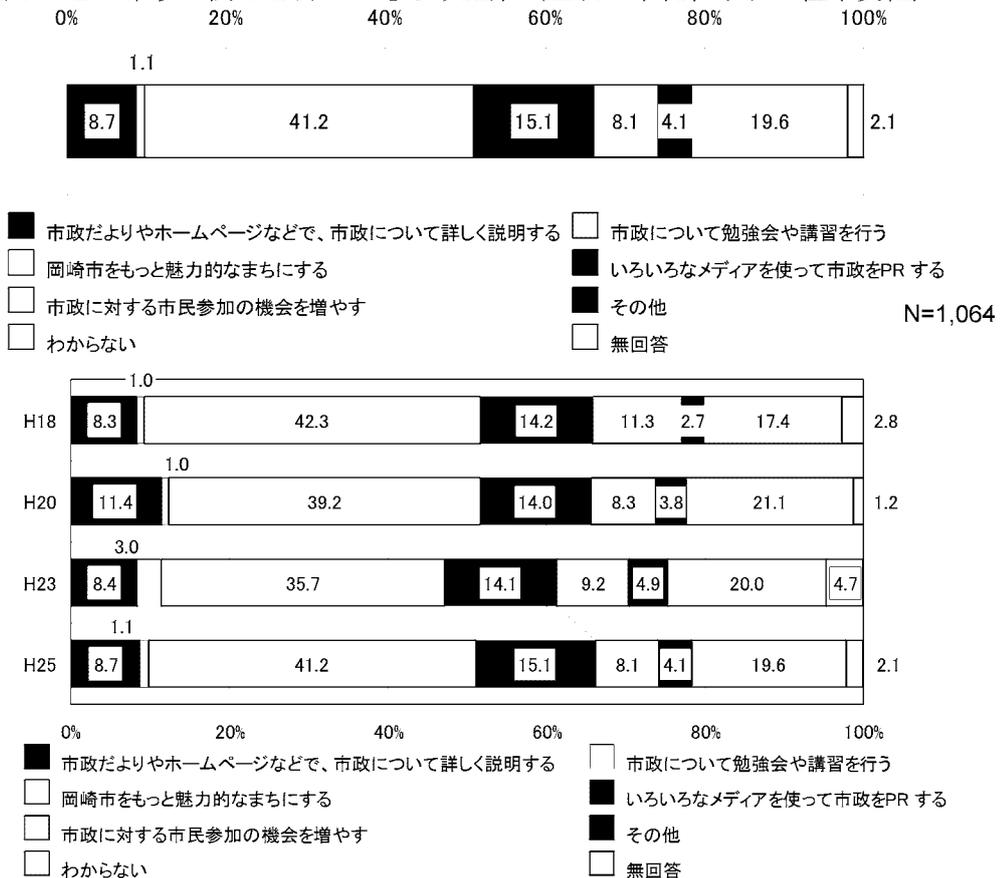
問9-2(問9で「あまり関心がない」、「まったく関心がない」と回答した方のみ)
 市政に関心を持ってもらうには、どのようにしたらよいと思いますか。次の中から主なものを1つ選び、その番号を○で囲んでください。

表3-2 市政に関心を持ってもらう施策

(単位:人、%)

	全体	市政だよりやホームページなどで、市政について詳しく説明する	市政について勉強会や講習を行う	岡崎市をもっと魅力的なまちにする	いろいろなメディアを使って市政をPRする	市政に対する市民参加の機会を増やす	その他	わからない	無回答
回答者数	1,064	93	12	438	161	86	44	209	21
割合	100.0	8.7	1.1	41.2	15.1	8.1	4.1	19.6	2.1

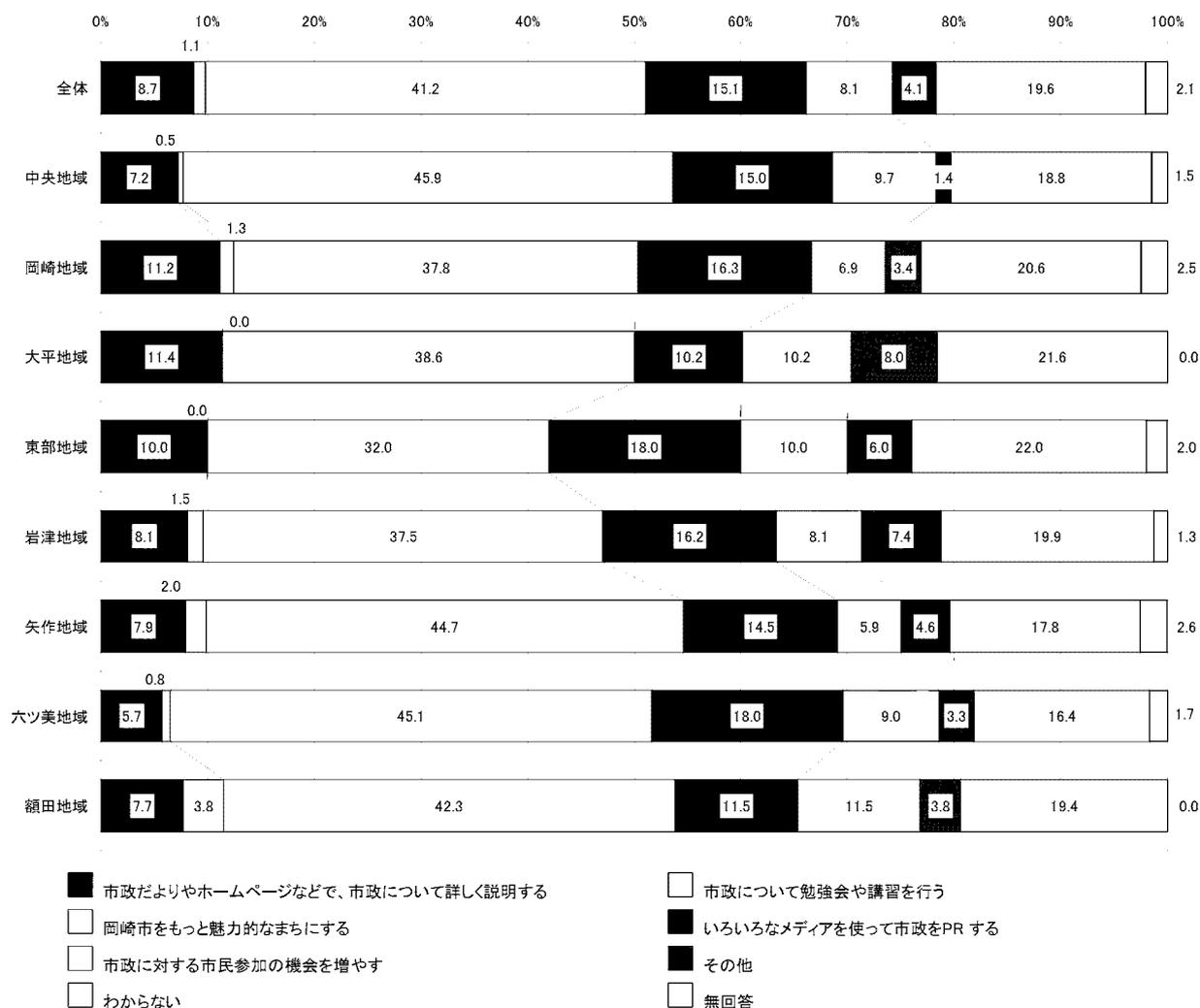
図3-2 市政に関心を持ってもらう施策(上段:単純、下段:経年変化)



<地域別>

地域別にみると、「岡崎市をもっと魅力的なまちにする」との回答が多かったのは中央地域（45.9%）、六ツ美地域（45.1%）、矢作地域（44.7%）であり、全体で次に回答の多かった「いろいろなメディアを使って市政をPRする」が多かったのは東部地域（18.0%）、六ツ美地域（18.0%）、岡崎地域（16.3%）である。また、「市政に対する市民参加の機会を増やす」との回答が多かったのは額田地域（11.5%）、大平地域（10.2%）、東部地域（10.0%）である。六ツ美地域では、いずれかの施策（その他含む）を行うべきとの回答割合が高く、81.9%となっている。

図3-2a 市政に関心を持ってもらう施策



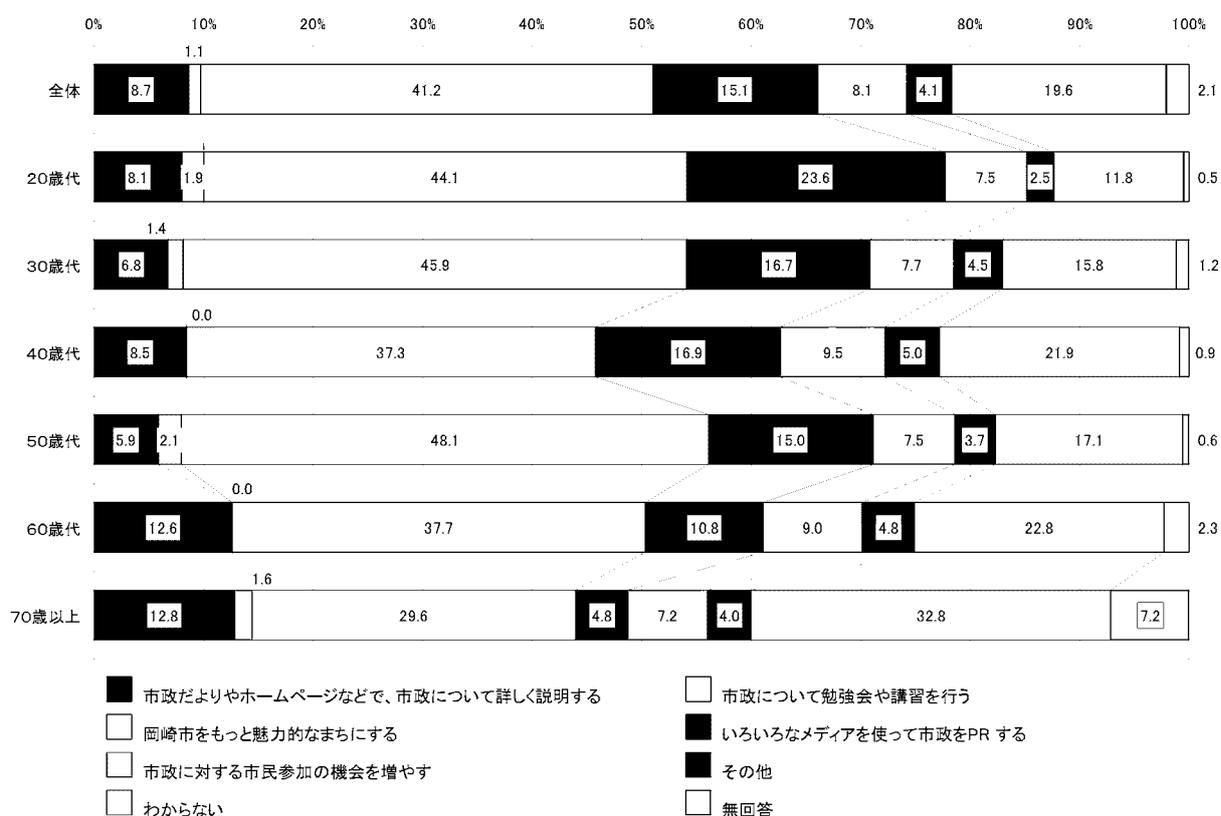
<年齢別>

年齢別にみると、20歳代から30歳代にかけては、「岡崎市をもっと魅力的なまちにする」との回答が4割半ばとなっている。また「いろいろなメディアを使って市政をPRする」との回答は20歳代が23.6%と他の年齢と比して多くなっている。

50歳代は「岡崎市をもっと魅力的なまちにする」との回答が48.1%とすべての年代でもっとも多くなっている。

60歳代、70歳以上は他の年齢と比して「市政だよりやホームページなどで、市政について詳しく説明する」との回答がそれぞれ12.6%、12.8%と他の年齢と比して多くなっている。

図3-2b 市政に関心を持ってもらう施策



C 公共施設について

問 10 過去5年間の施設利用状況

過去5年間の市の施設利用についてうかがったところ、「ある程度利用している」との回答がもっとも多く43.8%であり、「よく利用している」を合わせると市民の約6割が市の施設を利用している。

問 10

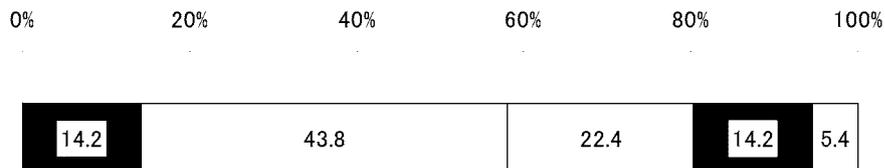
過去5年の間で市の施設を利用したことがありますか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

表 4 過去5年間の施設利用状況

(単位:人、%)

	全体	よく利用している	ある程度利用している	あまり利用していない	まったく利用していない	無回答
回答者数	2,916	414	1,276	652	414	160
割合	100.0	14.2	43.8	22.4	14.2	5.4

図 4 過去5年間の施設利用状況



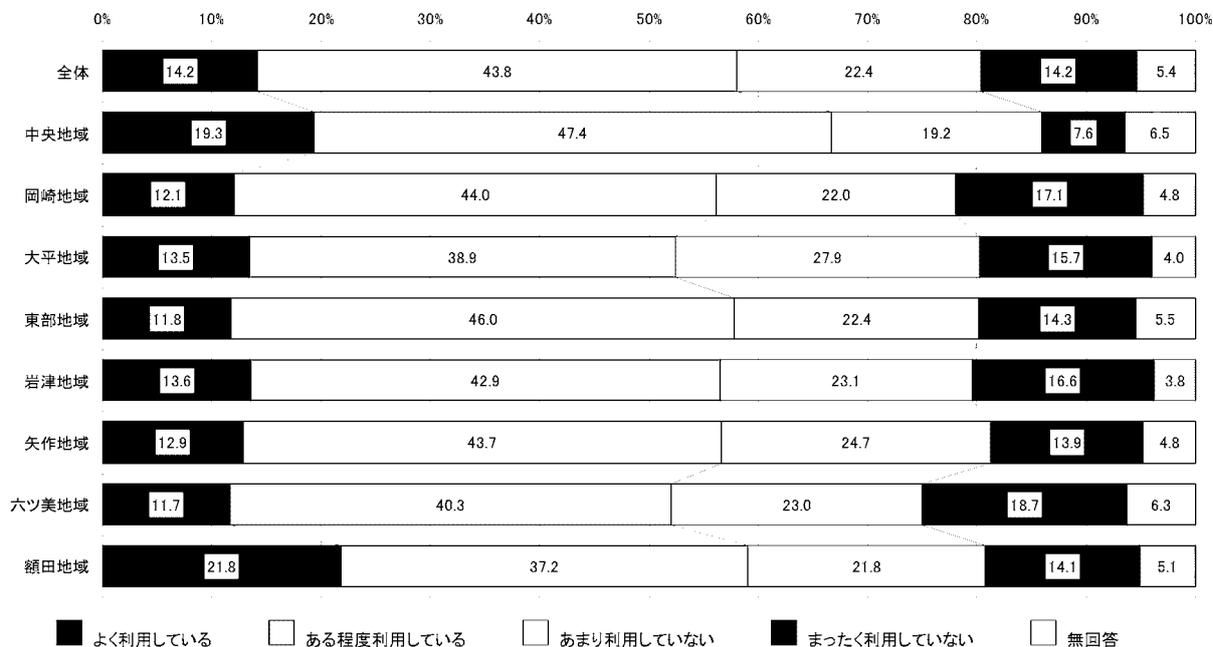
N=2,916

- よく利用している
- ある程度利用している
- あまり利用していない
- まったく利用していない
- 無回答

<地域別>

地域別にみると、「よく利用している」、「ある程度利用している」との回答が多いのは中央地域（66.7%）、額田地域（59.0%）、東部地域（57.8%）で、特に額田地域と中央地域は「よく利用している」との回答がそれぞれ21.8%、19.3%と他地域と比して多くなっている。

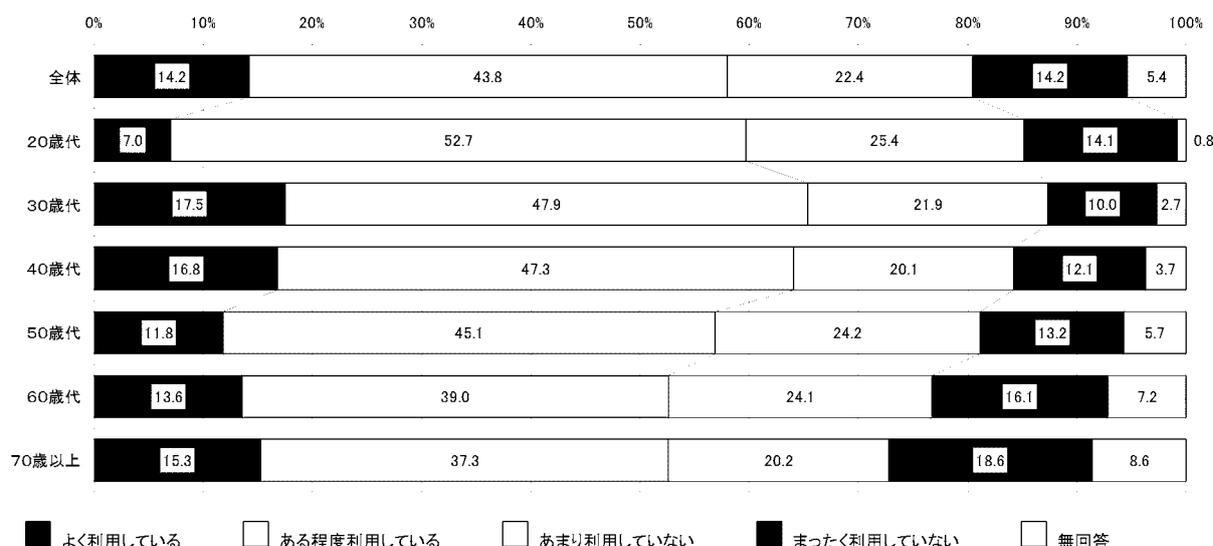
図4a 過去5年間の施設利用状況（地域別）



<年齢別>

年齢別にみると、「よく利用している」、「ある程度利用している」との回答は30歳代で65.4%、40歳代で64.1%と多くなっている。また、60歳代、70歳以上では「よく利用している」、「ある程度利用している」との回答は少ないが、50%以上となっている。

図4b 過去5年間の施設利用状況（年齢別）



問 10-1 利用した施設の種類

問 10 で「よく利用している」、「ある程度利用している」と答えた人に、利用した施設の種類をうかがったところ、「集会交流」(38.7%)、「運動健康」(35.0%)、「文化芸術」(32.8%)、「社会教育」(32.6%)が多くなっている。

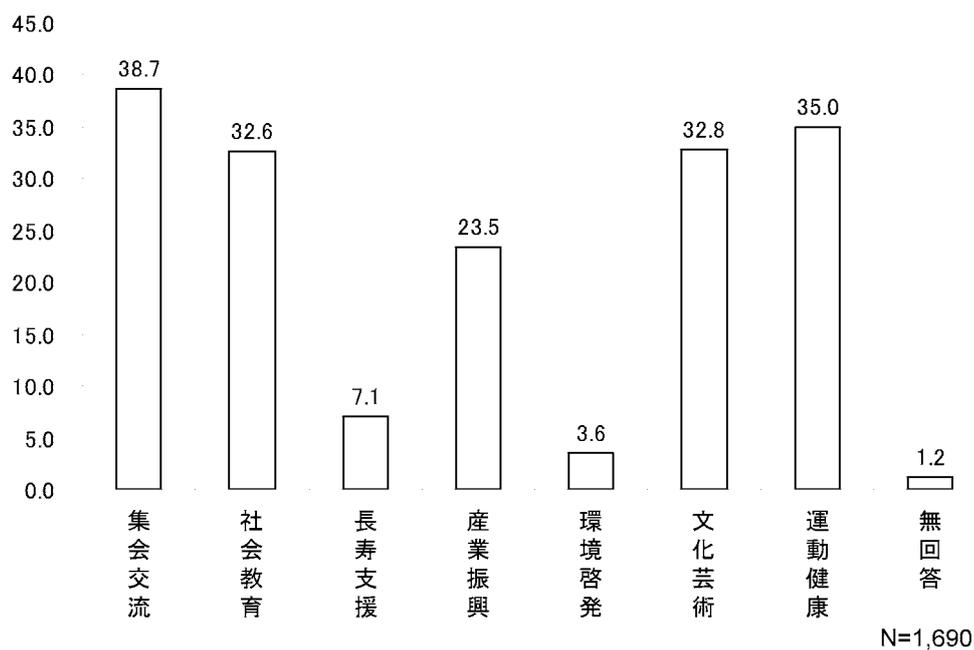
問 10-1(問 10 で「よく利用している」、「ある程度利用している」と回答した方のみ)
利用した市の施設の種類を次の中から最大2つまで選び、その番号を○で囲んでください。

表 4-1 利用した施設の種類

(単位:人、%)

	全体	集会交流	社会教育	長寿支援	産業振興	環境啓発	文化芸術	運動健康	無回答
回答者数	1,690	654	551	120	397	60	554	591	21
割合	100.0	38.7	32.6	7.1	23.5	3.6	32.8	35.0	1.2

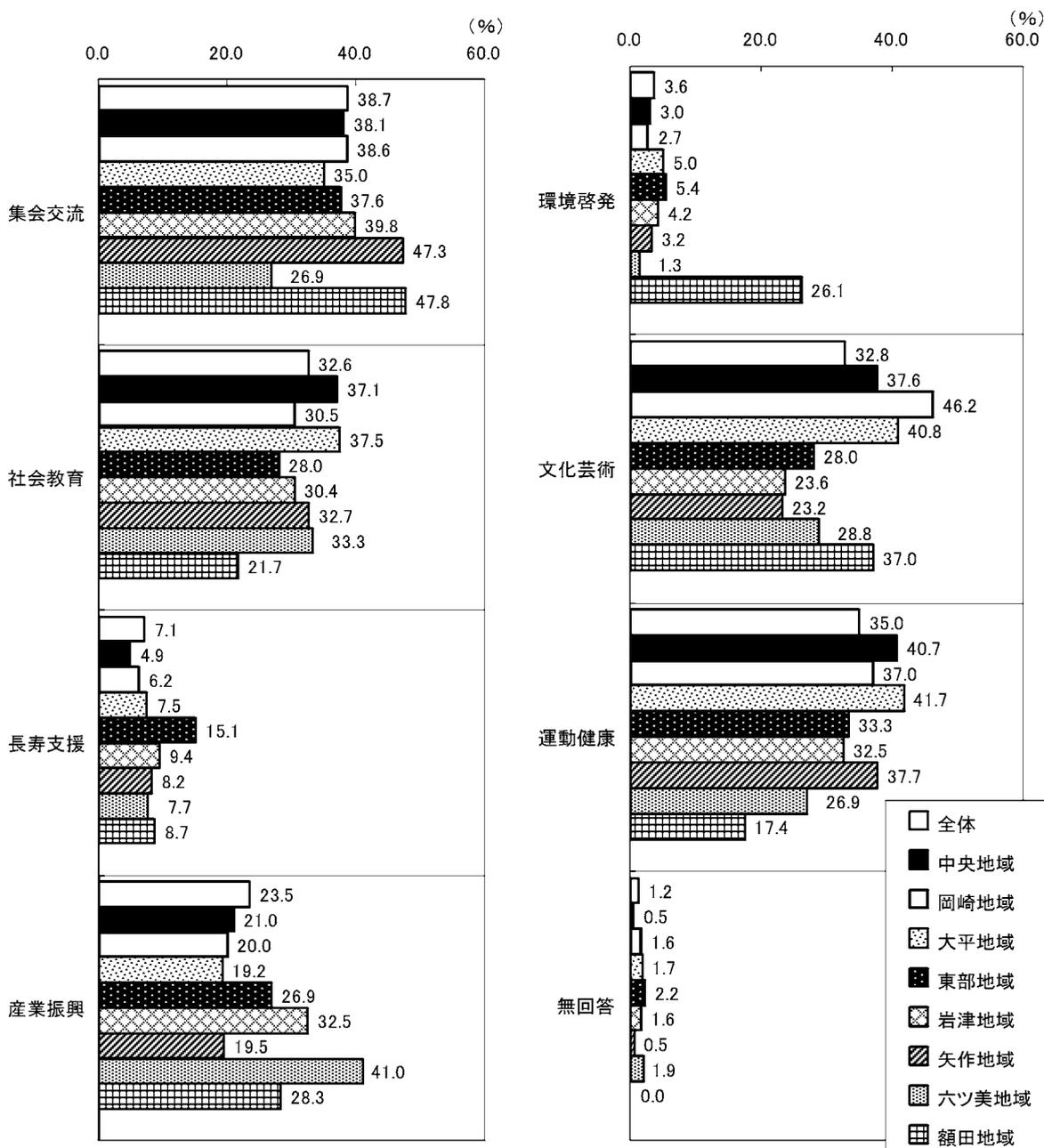
図 4-1 利用した施設の種類



<地域別>

地域別にみると、全体で回答の多かった「集会交流」は額田地域（47.8%）、矢作地域（47.3%）で多くなっている。また、「運動健康」は大平地域（41.7%）、中央地域（40.7%）が、「文化芸術」は岡崎地域（46.2%）、大平地域（40.8%）が、「社会教育」は大平地域（37.5%）、中央地域（37.1%）が、「環境啓発」は額田地域（26.1%）が多くなっており、地域差がみられる。

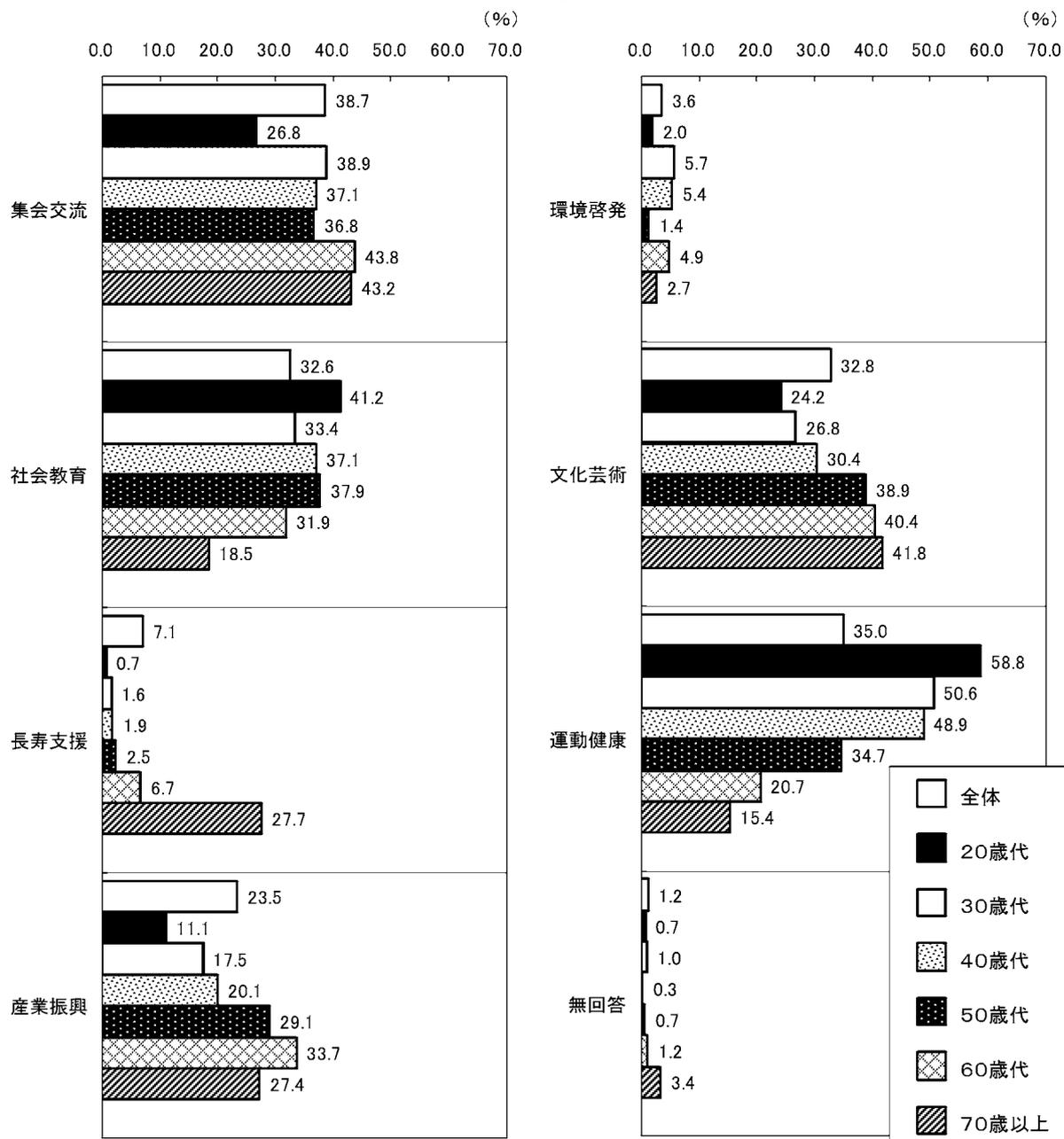
図4-1a 利用した施設の種類の種類（地域別）



<年齢別>

年齢別にみると、「運動健康」は年齢が低いほど高い傾向が表れており、70歳以上では15.4%であるのに対し、20歳代では58.8%と約3.8倍となっている。一方、「集会交流」、「文化芸術」、「産業振興」は年齢が高いほど高い傾向が表れており、20歳代では「集会交流」が26.8%、「文化芸術」が24.2%、「産業振興」が11.1%であるのに対し、70歳以上ではそれぞれ43.2%、41.8%、27.4%であり、70歳以上は20歳代の約1.6倍、約1.7倍、約2.5倍になっている。

図4-1b 利用した施設の種類の種類（年齢別）



問 11 将来的な施設サービスのあり方

将来的な施設サービスのあり方についてうかがったところ、「近場で似た施設を統合するなど、さらなる合理化を推進したほうがよい」がもっとも多く 49.6%であり、「施設利用者から維持費に見合う料金を、高額になっても徴収したほうがよい」(17.3%) が2番目に高い結果となった。

問 11

市の施設は上記以外にも小中学校や公園なども含め数多くありますが、今後は老朽化による工事費等の増加が懸念されます。

これからは、今まで以上に維持費節約などの工夫をし、サービスの質を落とさないよう取り組んでいきますが、その先の将来的な施設サービスについて、次の中からあなたのお考えに最も近いものを1つ選び、その番号を○で囲んでください。

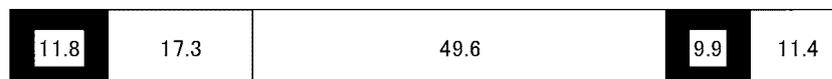
表 5 将来的な施設サービスのあり方

(単位:人、%)

	全体	たスもス他 ほ水、をの う準施削公 がを設減共 よ維サしサ い持してし しビでビ	たな料維施 ほつ金持設 うてを費利 がも、に用 よ徴高見者 い収額合か しにうら	ほ理どを近 う化、統場 がをさ合で よ推らす似 い進なるた しるな施 た合 設	がをにを将 よ減施考来 いら設え世 しサ、代 た 最の ほビ大負 うス限担	無 回 答
回答者数	2,916	345	504	1,446	289	332
割合	100.0	11.8	17.3	49.6	9.9	11.4

図 5 将来的な施設サービスのあり方

0% 20% 40% 60% 80% 100%



- 11.8 他の公共サービスを削減してでも、施設サービス水準を維持したほうがよい
- 17.3 施設利用者から維持費に見合う料金を、高額になっても徴収したほうがよい
- 49.6 近場で似た施設を統合するなど、さらなる合理化を推進したほうがよい
- 9.9 将来世代の負担を考え、最大限に施設サービスを減らしたほうがよい
- 11.4 無回答

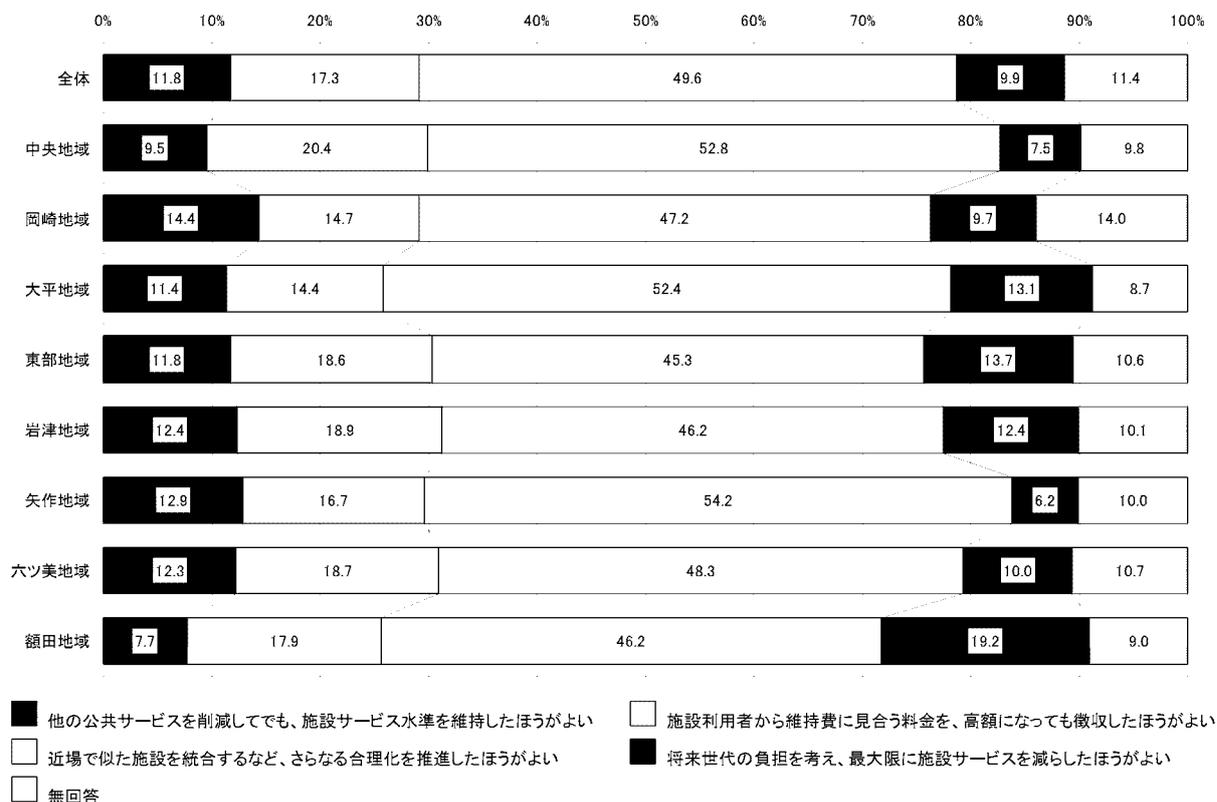
N=2,916

<地域別>

地域別にみると、全体でもっとも多かった「近場で似た施設を統合するなど、さらなる合理化を推進したほうがよい」は矢作地域（54.2%）、中央地域（52.8%）、大平地域（52.4%）の順に多く、もっとも少ない額田地域、岩津地域（46.2%）との差は8.0ポイントと地域差は見られない。

一方、「将来世代の負担を考え、最大限に施設サービスを減らしたほうがよい」は額田地域でもっとも多く（19.2%）、もっとも少ない矢作地域（6.2%）との差は13.0ポイントと地域差が大きい。

図5a 将来的な施設サービスのあり方（地域別）

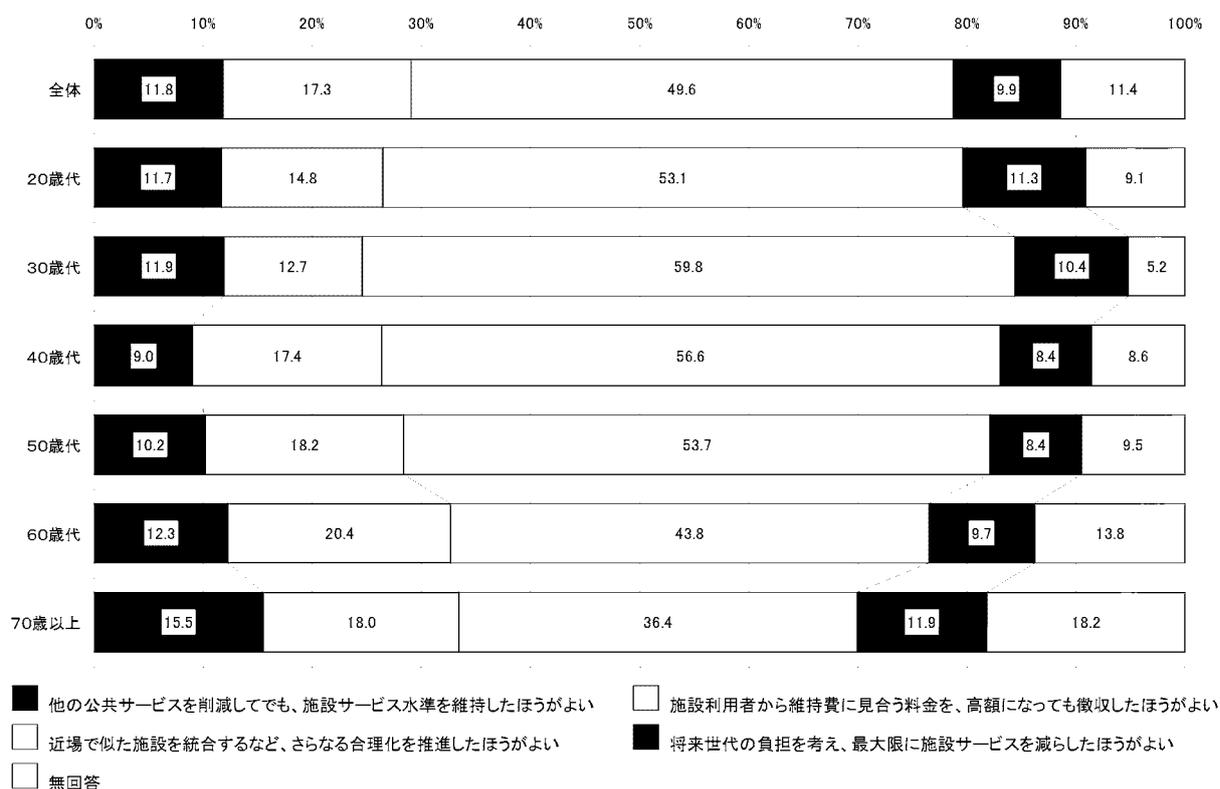


<年齢別>

年齢別にみると、全体でもっとも多かった「近場で似た施設を統合するなど、さらなる合理化を推進したほうがよい」は年齢が高いほど低くなる傾向が表れており、20歳代が53.1%、30歳代が59.8%であるのに対し70歳以上が36.4%と約3分の2になっている。

一方、「他の公共サービスを削減してでも、施設サービスの水準を維持したほうがよい」は年齢が高いほど高くなる傾向が表れている。

図5b 将来的な施設サービスのあり方（年齢別）



D 市の取組に対する満足度・重要度について

問 12（１） 市の行政施策に係る「現状の満足度」

市の行政施策に係る「現状の満足度」をうかがったところ、「５．保健衛生の充実」（49.9%）、「６．地域医療の充実」（46.8%）の項目で「満足している」「やや満足している」の回答が多く、満足度が高い一方、「20．快適移動社会の実現」（23.5%）、「19．都市魅力の向上」（19.3%）の項目で「不満である」「やや不満である」の回答が多く、満足度が低くなっている。

問 12

あなたは市の行政施策について、どのようにお考えですか。以下のそれぞれの取組に係る「現状の満足度」と「今後の重要度」について、あなたのお考えに最も近いものをそれぞれ1つずつ選び、その番号を○で囲んでください。

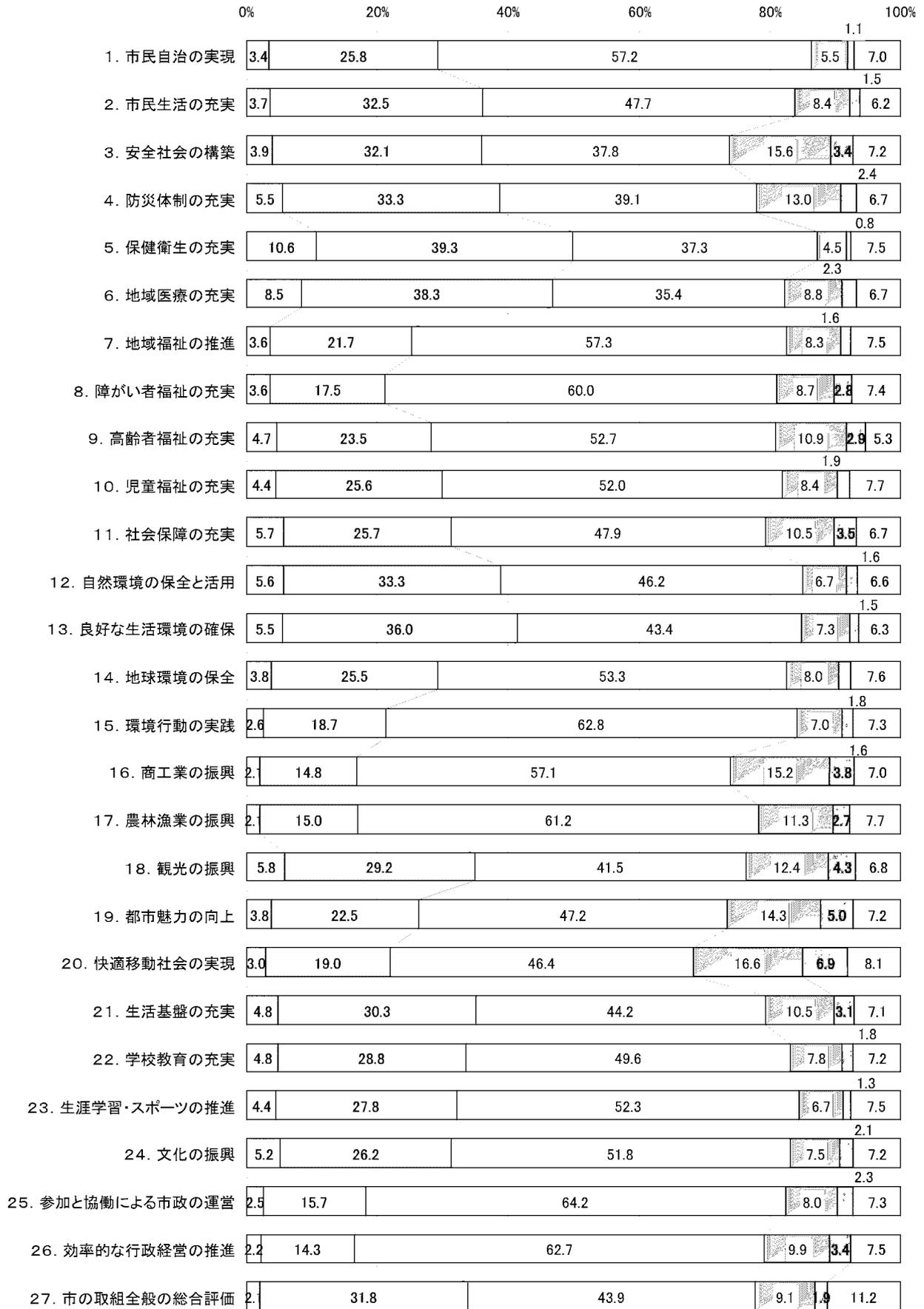
表 6（１） 市の行政施策に係る「現状の満足度」

（単位：人、％）

問 12(1)市の行政施策に係る「現状の満足度」	全体	満足している	やや満足している	どちらとも言えない	やや不満である	不満である	無回答
1. 市民自治の実現	2,916	99	753	1,668	159	32	205
	100.0	3.4	25.8	57.2	5.5	1.1	7.0
2. 市民生活の充実	2,916	108	949	1,391	246	43	179
	100.0	3.7	32.5	47.7	8.4	1.5	6.2
3. 安全社会の構築	2,916	113	937	1,102	455	100	209
	100.0	3.9	32.1	37.8	15.6	3.4	7.2
4. 防災体制の充実	2,916	159	971	1,141	379	71	195
	100.0	5.5	33.3	39.1	13.0	2.4	6.7
5. 保健衛生の充実	2,916	308	1,146	1,089	132	24	217
	100.0	10.6	39.3	37.3	4.5	0.8	7.5
6. 地域医療の充実	2,916	247	1,116	1,032	257	68	196
	100.0	8.5	38.3	35.4	8.8	2.3	6.7
7. 地域福祉の推進	2,916	106	634	1,670	242	48	216
	100.0	3.6	21.7	57.3	8.3	1.6	7.5
8. 障がい者福祉の充実	2,916	105	511	1,751	254	83	212
	100.0	3.6	17.5	60.0	8.7	2.8	7.4
9. 高齢者福祉の充実	2,916	138	686	1,538	317	85	152
	100.0	4.7	23.5	52.7	10.9	2.9	5.3
10. 児童福祉の充実	2,916	129	746	1,515	245	55	226
	100.0	4.4	25.6	52.0	8.4	1.9	7.7

問 12(1)市の行政施策に係る 「現状の満足度」	全体	満足して いる	やや満足 している	どちらとも 言えない	やや不満 である	不満で ある	無回答
11. 社会保障の充実	2,916	165	748	1,398	306	103	196
	100.0	5.7	25.7	47.9	10.5	3.5	6.7
12. 自然環境の保全と活用	2,916	162	971	1,348	196	48	191
	100.0	5.6	33.3	46.2	6.7	1.6	6.6
13. 良好な生活環境の確保	2,916	159	1,049	1,265	214	44	185
	100.0	5.5	36.0	43.4	7.3	1.5	6.3
14. 地球環境の保全	2,916	112	744	1,555	232	53	220
	100.0	3.8	25.5	53.3	8.0	1.8	7.6
15. 環境行動の実践	2,916	77	545	1,832	204	47	211
	100.0	2.6	18.7	62.8	7.0	1.6	7.3
16. 商工業の振興	2,916	61	432	1,666	443	110	204
	100.0	2.1	14.8	57.1	15.2	3.8	7.0
17. 農林漁業の振興	2,916	62	436	1,784	329	78	227
	100.0	2.1	15.0	61.2	11.3	2.7	7.7
18. 観光の振興	2,916	169	851	1,209	362	126	199
	100.0	5.8	29.2	41.5	12.4	4.3	6.8
19. 都市魅力の向上	2,916	111	657	1,377	417	147	207
	100.0	3.8	22.5	47.2	14.3	5.0	7.2
20. 快適移動社会の実現	2,916	87	555	1,353	483	201	237
	100.0	3.0	19.0	46.4	16.6	6.9	8.1
21. 生活基盤の充実	2,916	141	883	1,290	305	90	207
	100.0	4.8	30.3	44.2	10.5	3.1	7.1
22. 学校教育の充実	2,916	141	839	1,447	226	53	210
	100.0	4.8	28.8	49.6	7.8	1.8	7.2
23. 生涯学習・スポーツの 推進	2,916	129	810	1,526	194	39	218
	100.0	4.4	27.8	52.3	6.7	1.3	7.5
24. 文化の振興	2,916	153	763	1,510	219	60	211
	100.0	5.2	26.2	51.8	7.5	2.1	7.2
25. 参加と協働による市政の 運営	2,916	73	458	1,871	232	67	215
	100.0	2.5	15.7	64.2	8.0	2.3	7.3
26. 効率的な行政経営の推進	2,916	65	418	1,827	288	99	219
	100.0	2.2	14.3	62.7	9.9	3.4	7.5
27. 市の取組全般の総合評価	2,916	61	927	1,279	265	54	330
	100.0	2.1	31.8	43.9	9.1	1.9	11.2

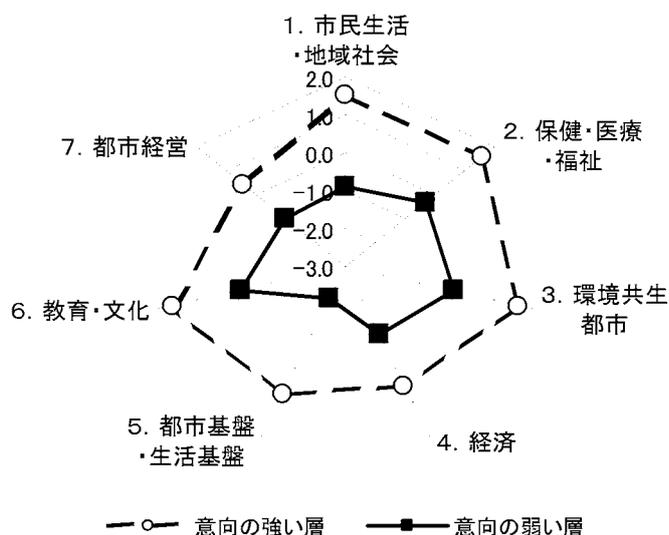
図6 (1) 市の行政施策に係る「現状の満足度」



満足している
 やや満足している
 どちらとも言えない
 やや不満である
 不満である
 無回答

次に問 12（1）市の行政施策に係る「現状の満足度」について7つのカテゴリに分け、7つのカテゴリ別に問 8 の居住継続意向をグループ化して比較する。全体として居住継続意向が強い層はすべての項目に対し居住継続意向が弱い層よりも高い満足度評価をしている。特に「都市基盤・生活基盤」と「市民生活・地域社会」のカテゴリについては意向の強い層と弱い層との間で現状満足度評価の得点に大きな差が見られた。

図 6（1）－1 居住継続意向別 満足度評価（カテゴリ別）

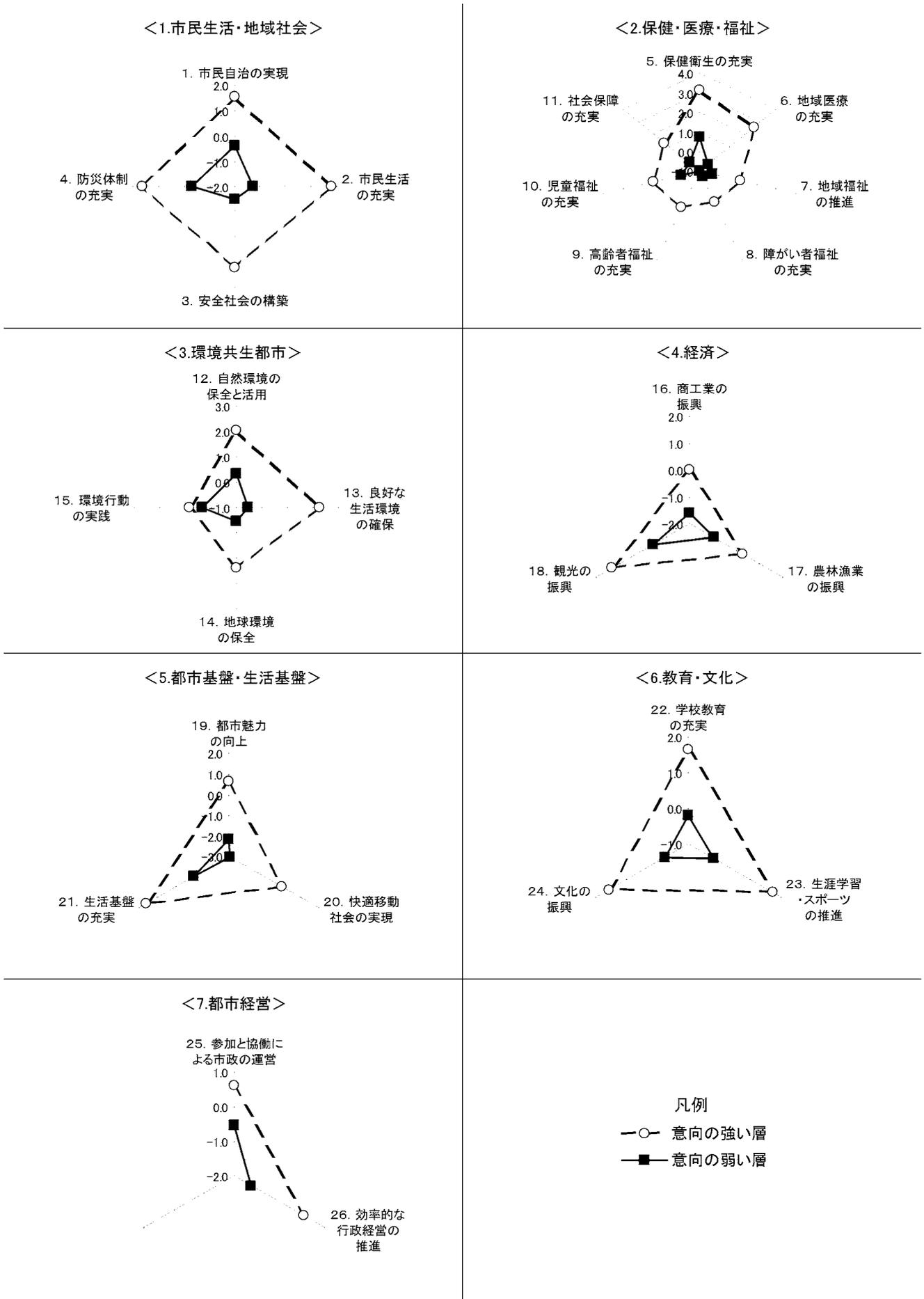


注：まず、居住継続意向が「ずっと住んでいたい」「しばらくは住むつもりだ」の回答を意向の強い意見、「市内の他の地域に移りたい」「市外に移りたい」を意向の弱い意見とした。続いて問 12（1）現状の満足度についての1から26までの26項目を、その内容により「市民生活・地域社会」「保健・医療・福祉」「環境共生都市」「経済」「都市基盤・生活基盤」「教育・文化」「都市経営」の7カテゴリに分類し、カテゴリ別の平均点を算出した。問 8 の「ずっと住んでいたい」「しばらくは住むつもりだ」、「市内の他の地域に移りたい」、「市外に移りたい」の回答に、それぞれ2点、1点、1点、2点の得点を与え、各カテゴリの平均点にかけて算出した。なお、問 12（1）の各項目の満足度平均得点は『満足している』～『不満である』の回答数に、それぞれ、10点・5点・0点・-5点・-10点の得点を与え、合計得点を求め、有回答（『満足している』～『不満である』の何れかに回答があるもの）件数を母数として割り算を行っている。以降のチャートグラフの算出方法はこれに従った。

続いて問 8 の居住継続意向と、問 12（1）市の行政施策に係る「現状の満足度」とを合わせたものについて、各カテゴリについて項目ごとにみたものが次ページの図 6（1）－2である。

各カテゴリ内で特にどの項目に満足しているかという傾向は、居住継続意向の強い層と弱い層とであまり違いは見られない場合が多い。強い層と弱い層で差が大きくなる傾向を示した（意向の弱い層が相対的に低い評価をした）項目は、市民生活・地域社会では「2. 市民生活の充実」、「3. 安全社会の構築」、保健・医療・福祉では「6. 地域医療の充実」、環境共生都市では「13. 良好な生活環境の確保」、都市基盤・生活基盤では「20. 快適移動社会の実現」である。

図6 (1) - 2 居住継続意向別 満足度評価 (項目別)



(参考) 居住継続意向別 満足度評価 (項目別)

カテゴリ1. 市民生活・地域社会	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
1. 市民自治の実現	1.52	-0.41	1.93
2. 市民生活の充実	1.79	-1.27	3.06
3. 安全社会の構築	1.19	-1.48	2.67
4. 防災体制の充実	1.64	-0.31	1.95
カテゴリ2. 保健・医療・福祉	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
5. 保健衛生の充実	3.15	0.72	2.43
6. 地域医療の充実	2.56	-0.46	3.02
7. 地域福祉の推進	1.14	-0.36	1.50
8. 障がい者福祉の充実	0.72	-0.66	1.38
9. 高齢者福祉の充実	1.08	-0.99	2.07
10. 児童福祉の充実	1.38	-0.05	1.43
11. 社会保障の充実	1.28	-0.36	1.65
カテゴリ3. 環境共生都市	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
12. 自然環境の保全と活用	2.06	0.34	1.72
13. 良好な生活環境の確保	2.23	-0.55	2.78
14. 地球環境の保全	1.36	-0.47	1.83
15. 環境行動の実践	0.85	0.31	0.54
カテゴリ4. 経済	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
16. 商工業の振興	-0.02	-1.62	1.60
17. 農林漁業の振興	0.27	-1.00	1.27
18. 観光の振興	1.30	-0.46	1.76
カテゴリ5. 都市基盤・生活基盤	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
19. 都市魅力の向上	0.60	-2.19	2.79
20. 快適移動社会の実現	-0.03	-2.94	2.91
21. 生活基盤の充実	1.57	-1.07	2.64
カテゴリ6. 教育・文化	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
22. 学校教育の充実	1.66	-0.21	1.87
23. 生涯学習・スポーツの推進	1.70	-0.17	1.87
24. 文化の振興	1.56	-0.27	1.83
カテゴリ7. 都市経営	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
25. 参加と協働による市政の運営	0.58	-0.57	1.15
26. 効率的な行政経営の推進	0.29	-1.42	1.70

問 12（2） 市の行政施策に係る「今後の重要度」

市の行政施策に関わる重要度については、「4. 防災体制の充実」（75.9%）、「3. 安全社会の構築」（75.1%）、「6. 地域医療の充実」（73.0%）の項目で、「重要である」「やや重要である」の回答割合が高く、市民が重要性を感じている。

問 12

あなたは市の行政施策について、どのようにお考えですか。以下のそれぞれの取組に係る「現状の満足度」と「今後の重要度」について、あなたのお考えに最も近いものをそれぞれ1つずつ選び、その番号を○で囲んでください。

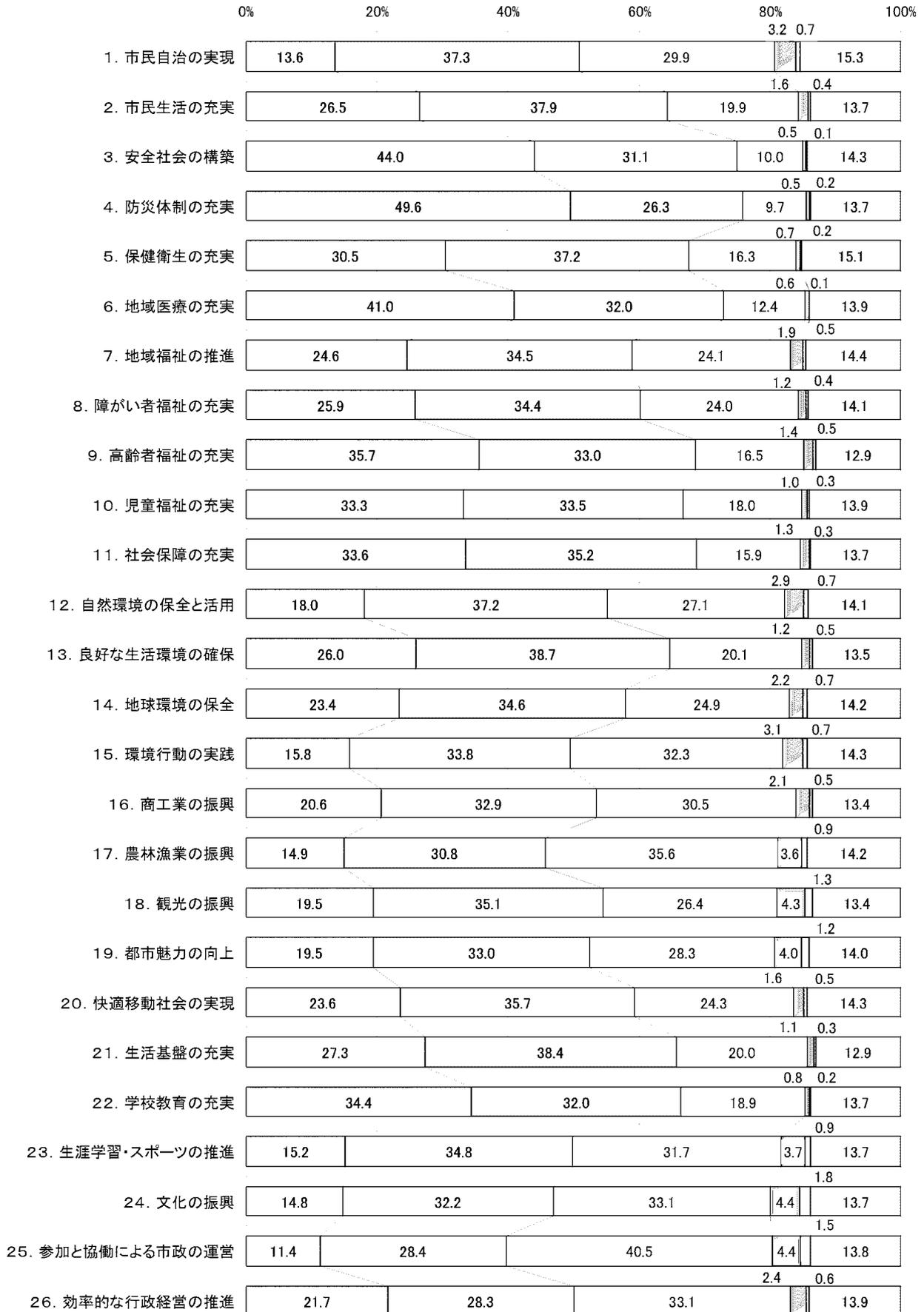
表 6（2） 市の行政施策に係る「今後の重要度」

（単位：人、％）

問 12(2)市の行政施策に係る「今後の重要度」	全体	重要である	やや重要である	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない	無回答
1. 市民自治の実現	2,916	397	1,088	873	93	20	445
	100.0	13.6	37.3	29.9	3.2	0.7	15.3
2. 市民生活の充実	2,916	774	1,105	579	46	11	401
	100.0	26.5	37.9	19.9	1.6	0.4	13.7
3. 安全社会の構築	2,916	1,284	908	292	14	3	415
	100.0	44.0	31.1	10.0	0.5	0.1	14.3
4. 防災体制の充実	2,916	1,445	766	282	15	7	401
	100.0	49.6	26.3	9.7	0.5	0.2	13.7
5. 保健衛生の充実	2,916	889	1,086	476	19	5	441
	100.0	30.5	37.2	16.3	0.7	0.2	15.1
6. 地域医療の充実	2,916	1,197	934	363	17	3	402
	100.0	41.0	32.0	12.4	0.6	0.1	13.9
7. 地域福祉の推進	2,916	717	1,006	702	54	15	422
	100.0	24.6	34.5	24.1	1.9	0.5	14.4
8. 障がい者福祉の充実	2,916	754	1,002	699	35	11	415
	100.0	25.9	34.4	24.0	1.2	0.4	14.1
9. 高齢者福祉の充実	2,916	1,041	961	480	42	14	378
	100.0	35.7	33.0	16.5	1.4	0.5	12.9
10. 児童福祉の充実	2,916	971	976	526	30	10	403
	100.0	33.3	33.5	18.0	1.0	0.3	13.9
11. 社会保障の充実	2,916	981	1,025	463	39	8	400
	100.0	33.6	35.2	15.9	1.3	0.3	13.7
12. 自然環境の保全と活用	2,916	526	1,084	789	86	21	410
	100.0	18.0	37.2	27.1	2.9	0.7	14.1

問 12(2)市の行政施策に係る 「今後の重要度」	全体	重要で ある	やや重要 である	どちらとも 言えない	あまり重 要でない	重要で ない	無回答
13. 良好な生活環境の確保	2,916	759	1,129	586	34	14	394
	100.0	26.0	38.7	20.1	1.2	0.5	13.5
14. 地球環境の保全	2,916	682	1,008	727	64	19	416
	100.0	23.4	34.6	24.9	2.2	0.7	14.2
15. 環境行動の実践	2,916	461	987	941	90	19	418
	100.0	15.8	33.8	32.3	3.1	0.7	14.3
16. 商工業の振興	2,916	601	958	890	62	15	390
	100.0	20.6	32.9	30.5	2.1	0.5	13.4
17. 農林漁業の振興	2,916	435	899	1,037	106	27	412
	100.0	14.9	30.8	35.6	3.6	0.9	14.2
18. 観光の振興	2,916	568	1,023	771	124	37	393
	100.0	19.5	35.1	26.4	4.3	1.3	13.4
19. 都市魅力の向上	2,916	570	962	824	118	35	407
	100.0	19.5	33.0	28.3	4.0	1.2	14.0
20. 快適移動社会の実現	2,916	689	1,041	708	47	15	416
	100.0	23.6	35.7	24.3	1.6	0.5	14.3
21. 生活基盤の充実	2,916	796	1,120	583	32	10	375
	100.0	27.3	38.4	20.0	1.1	0.3	12.9
22. 学校教育の充実	2,916	1,002	933	552	24	6	399
	100.0	34.4	32.0	18.9	0.8	0.2	13.7
23. 生涯学習・スポーツの 推進	2,916	443	1,014	923	108	26	402
	100.0	15.2	34.8	31.7	3.7	0.9	13.7
24. 文化の振興	2,916	433	939	964	127	52	401
	100.0	14.8	32.2	33.1	4.4	1.8	13.7
25. 参加と協働による市政の 運営	2,916	332	827	1,180	128	43	406
	100.0	11.4	28.4	40.5	4.4	1.5	13.8
26. 効率的な行政経営の推進	2,916	634	826	966	69	18	403
	100.0	21.7	28.3	33.1	2.4	0.6	13.9

図6 (2) 市の行政施策に係る「今後の重要度」



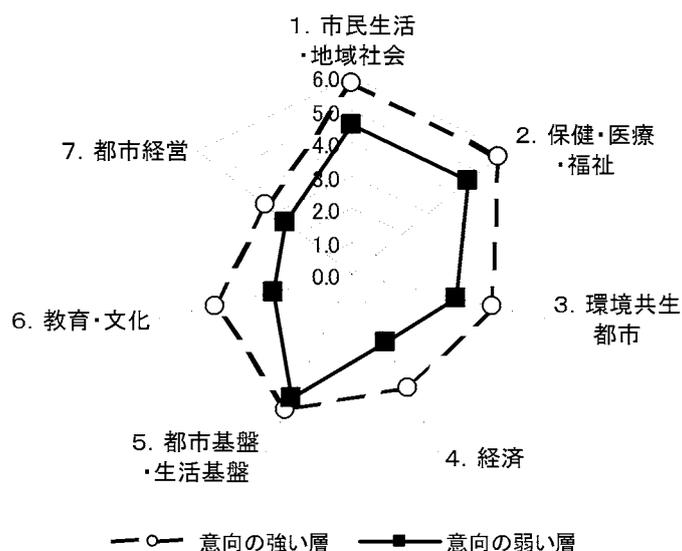
重要である
 やや重要である
 どちらとも言えない
 あまり重要でない
 重要でない
 無回答

次に、問 12（2）市の行政施策に係る「今後の重要度」について7つのカテゴリに分け、7つのカテゴリ別に問 8 の居住継続意向をグループ化して比較する。

全体として、施策の中で特に何を重視するかについて、その重視する項目は、居住継続意向の強い層と弱い層であまり差はみられない。前掲の満足度評価と同様、すべての項目において意向の強い層の方が得点が高いが、その得点差は満足度より小さいことが読み取れる。

差が見られるのは主に居住意向の弱い層が強い層より重要度が低いと考えている場合であり、「教育・文化」、「経済」、「市民生活・地域社会」となっている。

図 6（2）－ 1 居住継続意向別 重要度評価（カテゴリ別）



各カテゴリ内の項目についての傾向は以下の通りである。

市民生活・地域社会については、「3. 安全社会の構築」と「4. 防災体制の充実」において、意向の強い層の方がより重要視している。

保健・医療・福祉については、「5. 保健衛生の充実」において、居住継続意向の強い層の方が、重要度を高く評価している。

環境共生都市については、「12. 自然環境の保全と活用」と「14. 地球環境の保全」において、意向の強い層の方がより重要視している。

経済については、「18. 観光の振興」において居住継続意向の強い層の方が、重要度を高く評価している。

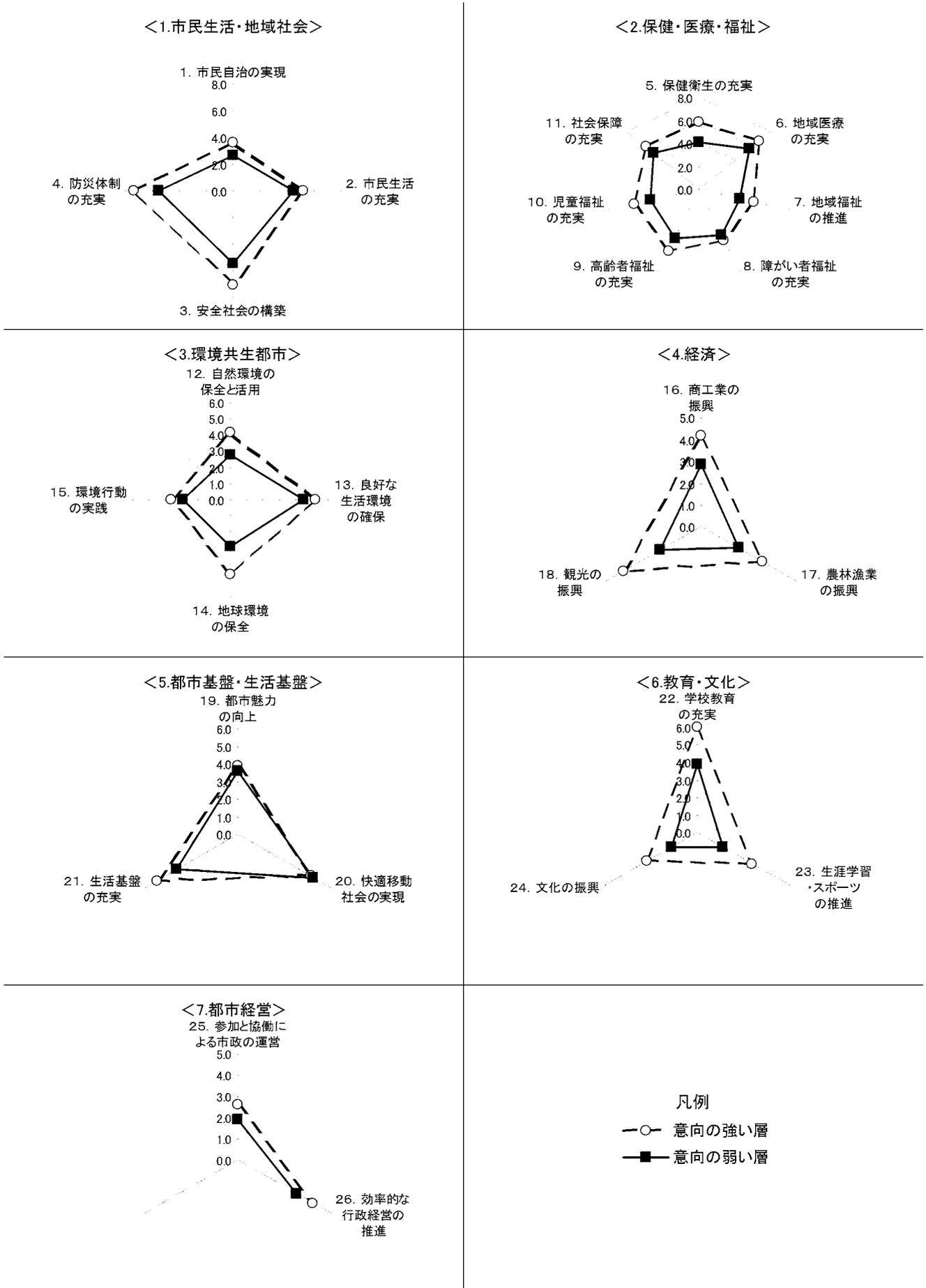
都市基盤・生活基盤については、居住継続意向の強い層も弱い層もほぼ同じ意見を有している。そのなかで違いが見られるのは「21. 生活基盤の充実」である。

教育・文化は、「22. 学校教育の充実」において双方の差がもっとも大きくなっており、どの項目よりも差が大きくなっている。

最後に都市経営については、項目間での居住継続意向の強弱による差異は、ほとんどみられない。

以上より、すべてのカテゴリにおいて、居住継続意向の強い層の方が全般的に重要度を高く評価している。

図6(2)-2 居住継続意向別 重要度評価(項目別)



(参考) 居住継続意向別 重要度評価 (項目別)

カテゴリ1. 市民生活・地域社会	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
1. 市民自治の実現	3.61	2.63	0.97
2. 市民生活の充実	5.19	4.48	0.71
3. 安全社会の構築	7.03	5.46	1.57
4. 防災体制の充実	7.34	5.54	1.79
カテゴリ2. 保健・医療・福祉	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
5. 保健衛生の充実	5.87	4.09	1.78
6. 地域医療の充実	6.66	5.70	0.96
7. 地域福祉の推進	4.81	3.63	1.18
8. 障がい者福祉の充実	4.93	4.43	0.49
9. 高齢者福祉の充実	5.94	4.70	1.24
10. 児童福祉の充実	5.77	4.26	1.52
11. 社会保障の充実	5.87	5.04	0.83
カテゴリ3. 環境共生都市	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
12. 自然環境の保全と活用	4.09	2.73	1.36
13. 良好な生活環境の確保	5.15	4.46	0.69
14. 地球環境の保全	4.60	2.87	1.73
15. 環境行動の実践	3.59	2.87	0.72
カテゴリ4. 経済	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
16. 商工業の振興	4.16	2.85	1.31
17. 農林漁業の振興	3.25	1.98	1.27
18. 観光の振興	4.05	2.16	1.90
カテゴリ5. 都市基盤・生活基盤	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
19. 都市魅力の向上	3.86	3.59	0.28
20. 快適移動社会の実現	4.71	4.94	-0.23
21. 生活基盤の充実	5.26	4.02	1.24
カテゴリ6. 教育・文化	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
22. 学校教育の充実	5.95	3.82	2.13
23. 生涯学習・スポーツの推進	3.57	1.71	1.86
24. 文化の振興	3.22	1.66	1.56
カテゴリ7. 都市経営	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
25. 参加と協働による市政の運営	2.60	1.92	0.68
26. 効率的な行政経営の推進	4.05	3.22	0.83

居住継続意向と満足度および重要度との関係について

下図は前掲の図を再掲したものである。これらの図より、居住継続意向について、意向の強い層は市の行政施策に対する満足度が相対的に高く、意向の弱い層は満足度も相対的に低いことがわかる。

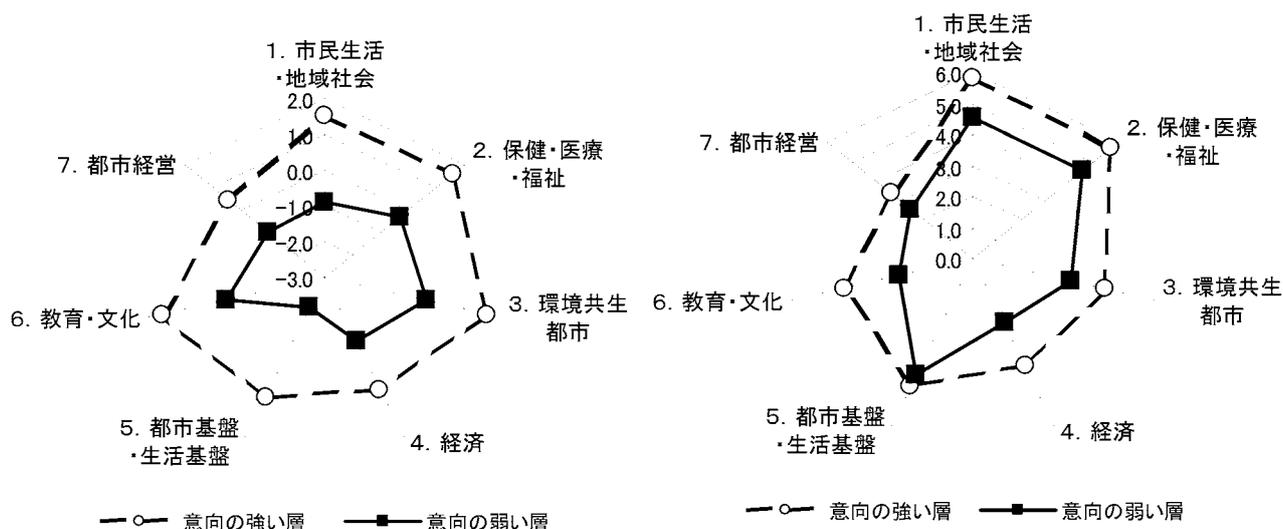
重要度についても満足度と同様に、居住継続意向の強い層は市の行政施策に対する重要度が相対的に高く、意向の弱い層は重要度も相対的に低い、「都市基盤・生活基盤」については居住継続意向による違いはほとんど見られなかった。

居住継続意向の強い層で満足度の高いカテゴリのうち、「教育・文化」と「環境共生社会」では重要度が相対的に低くなっており、この傾向は、居住継続意向の弱い層の「教育・文化」でより顕著である。

居住継続意向の強い層で満足度の高いカテゴリのうち、「市民生活・地域社会」と「保健・医療・福祉」では、重要度も高くなっている。現状に満足していてもなお、今後の重要度が高い。

居住継続意向の弱い層では「都市基盤・生活基盤」の満足度が他のカテゴリと比して低くなっているが、重要度の評価は他のカテゴリと大差ない。

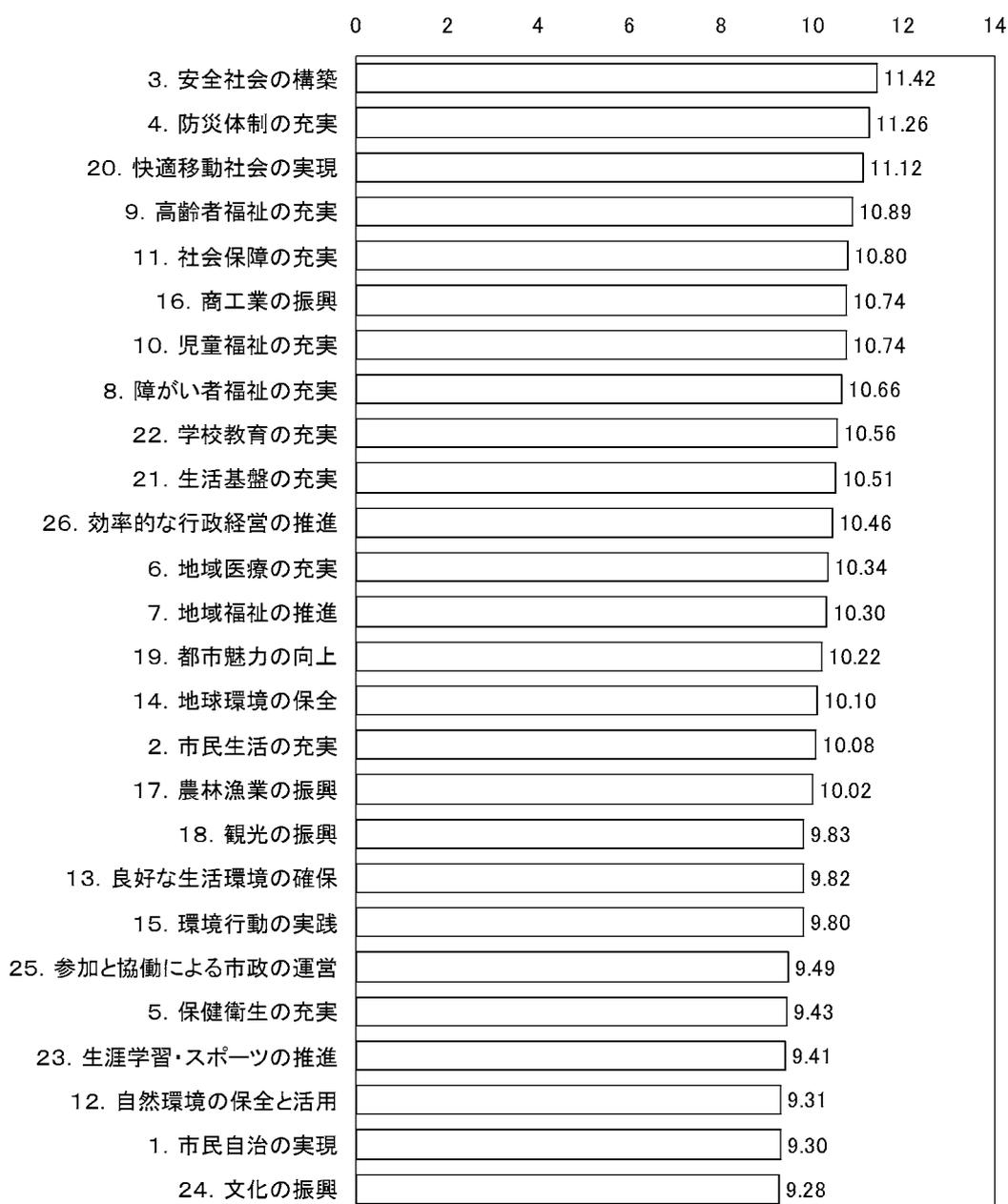
図6-1 居住継続意向別 満足度（左）と重要度（右）（それぞれ再掲）



ニーズ得点について

満足度と重要度から総合的に市民のニーズを測る「ニーズ得点」をみる。今回、ニーズ得点の高い項目としては、「3. 安全社会の構築」(11.42)、「4. 防災体制の充実」(11.26)、「20. 快適移動社会の実現」(11.12)、「9. 高齢者福祉の充実」(10.89)、「11. 社会保障の充実」(10.80)が挙げられる。これら上位の項目については、市民のニーズが高く、優先的に取り組むべき課題として認識する必要があるといえる。

図6-2 ニーズ得点



(参考) ニーズ得点

ニーズ得点は、下式により算出される回答者ごとの得点の全体平均であり、ニーズ得点が高い項目は、その行政施策・サービス等に対する住民のニーズが高いものととらえることができる。式中の「満足度得点」、「重要度得点」は問 12 の回答内容によって決まり、下表のように設定した。

$$\text{ニーズ得点} = \text{重要度得点} \times (6 - \text{満足度得点})$$

注) 満足度及び重要度に、次のように5段階のポイントをつける。

満足度	重要度	ポイント
満足	重要	5
やや満足	やや重要	4
どちらとも言えない	どちらとも言えない	3
やや不満	あまり重要でない	2
不満	重要でない	1

ここで(6 - 満足度得点)は不満度を意味し、また、ニーズ得点の範囲は1~25点となる。ニーズ得点は、重要度が高くなるほど、また満足度が低くなるほど(不満度が高くなるほど)高くなる。

内閣府国民生活局「国民生活選好度調査」より

E 自由回答

岡崎市の行政施策について、ご意見・ご提案をうかがったところ、あらゆる分野について1,684件の意見が寄せられた。

寄せられた意見を下記の分野ごとに意見を整理した。なお、類似した意見については1つの意見に集約している。

- 1 地域で支えあい安全に暮らせるまちづくり（市民生活・地域社会の充実）
- 2 健やかに安心して暮らせるまちづくり（保健・医療・福祉の充実）
- 3 自然と調和した環境にやさしいまちづくり（環境共生都市の実現）
- 4 賑わいと活力あるまちづくり（経済の振興）
- 5 快適で魅力あるまちづくり（都市基盤・生活基盤の整備）
- 6 未来を拓く人を育むまちづくり（教育・文化の振興）
- 7 将来まで自律した状態が続く都市経営（自律した都市経営の実践）

1 地域で支えあい安全に暮らせるまちづくり(市民生活・地域社会の充実)

<p>市民自治 市民生活</p>	<p>人を大切にするまちであってほしい／市民生活に密着した施策を行うべき／市民が必要とすることに取り組むべき／地域に根差した取組を行うべき／自立と自助が大切／アパートに住んでいると地域とのふれあいがなく困る／声を掛けることで市民活動に参加してもらおう／生活に余裕がなく地域活動等に参加できない／地域ぐるみで弱者を支えたり交流ができるとよい／地域の活動をなくしてほしい／地区の班長等の仕事が無駄に思える／町内会に協力しない人に指導してほしい／転入者は町内会に入りにくい／転入者へのフォローがない／地域にボランティア活動を取り入れることが必要／ホームページ・携帯電話を利用できない世帯への活動展開をしてほしい／回覧板をもっと利用する／個人が市を良くしていく意識が大切／市民団体の支援を考えてほしい／様々な人が市民ホームを利用できるようにしてほしい／市民が利用できる場所を増やしてほしい／相談先が分からない／市民サービスを向上してほしい／各種申請の手引書を作ってほしい／生活に貢献できる行政をしてほしい／未婚の男女が多い／閉鎖的である／姉妹都市の茅ヶ崎市との交流が生まれるとよい／多文化共生を支援してほしい</p>
<p>安全社会</p>	<p>交番を新設してほしい／治安が悪い／東岡崎駅周辺の風紀をよくしてほしい／暴力団を追放してほしい／カーブミラーを見えやすくしてほしい／ゆっくり通行すべきところに凸凹をつけて速度制限する／運転マナーが悪い(車・自転車)／街路灯をつけてほしい／危険な交差点を改善してほしい／交通事故を減らす取組を進めてほしい／歩いて生活できるまちづくりをしてほしい</p>
<p>防災体制</p>	<p>災害に強い都市機能の実現が重要／環境にも優しい防災対策を進めてほしい／市の施設に防災機能を持たせる／防災対策の区画整理を進めてほしい／地震・水害が心配／地域の防災意識の向上／現在の防災訓練は役に立つのか／古い家屋を何とかすべき／災害時に地区の情報が知りたい／防災無線を設置すべき／災害時の避難場所がわからない／少しの大雨で氾濫しそうな河川が多い／大雨が降るたびにサイレンが鳴り不安／排水路の整備など水害対策を進めてほしい／矢作川の危険箇所を詳しく知りたい／矢作川の堤防強化</p>

2 健やかに安心して暮らせるまちづくり(保健・医療・福祉の充実)

<p>保健衛生 地域医療</p>	<p>健康診断を全額補助してほしい／子宮がん検診の補助を充実してほしい／妊婦検診の無料化はよい／産婦診察票を公費負担にして子どもを産む人の援助を充実してほしい／子どもの健診の場所が異なる・計画性がない／母子手帳の紙質を良くしてほしい／保健所での肺炎球菌予防接種の対応を改善してほしい／子どもの予防接種の補助をしてほしい／予防接種はげんき館以外で行うべき／保健所の相談対応をきちんと行ってほしい／保健師による保健指導の質の向上を／健康施設を作してほしい／げんき館の運営に満足／げんき館の混雑を解消してほしい／AED つき自販機を公共施設に設置する／やすらぎ霊園の利用者から管理費を徴収すべき／火葬場で骨を勝手に片づけないでほしかった／条例を作り歩行喫煙を禁止してほしい／タバコの自販機と販売店をなくしてほしい／放射線量の測定をしてほしい／輸入食品の安全性確保を国に訴えてほしい／セルビ跡地に医療モールを誘致したらどうか／医療施設の充実／医療費の軽減／過剰な医療が多い／産婦人科が少ない／診療所が近くにあってありがたい／市北部に病院があるとよい／総合病院が必要／皆がかかりつけ医を持つべき／地域に病院を作してほしい／市民病院を作してほしい／地域医療を充実してほしい／子どもの医療費無料化はよい／医療・福祉は充実している／市民病院に広告を出して広告収入を得る／市民病院に入院できない／市民病院の医師がすぐ変わる／市民病院の医療の質を向上させてほしい／市民病院の対応が悪い／市民病院の対応を迅速に／市民病院の駐車場が少ない／救急レーンが使われていない</p>
<p>福祉</p>	<p>一般世帯と弱者の生活水準の差が大きい／市民・弱者のための市政を行ってほしい／高齢者・障がい者に優しいまちづくりをしてほしい／高齢者・障がい者の助成を切り下げないでほしい／地域福祉が遅れている／今後は福祉のことを考えていく必要がある／福祉サービスの担い手支援を考えてほしい／福祉施策を公正に行ってほしい／若者のホームレスやひきこもりの支援を進めてほしい／市民の障がいについての理解を深める施策を増やしてほしい／子ども発達センターに現場の声を活かしてほしい／障がい児を預けられる場所がない／一般の幼稚園・保育園で障がい児の受入れをしてほしい／障がい者施設・障がい者が暮らす場所を作してほしい・充実してほしい／タクシー券が全額使えるとよい／タクシー券の料金が減って困る／障がい者にも便利な乗り物があるとよい／高齢者が子どもを育てて子どもが高齢者の面倒をみる場面があってもよいと思う／高齢者と住む良さを若者に教えてほしい／高齢者が楽に外出できるとよい／高齢者の健康づくりの機会・支援を設けてほしい／高齢者の医療費を公費負担してほしい／高齢者のボランティア募集の情報を知りたい／シルバーセンターの活動を知りたい／シルバー人材センターが上手く機能していない／高齢者を活用してほしい／高齢者が働くことができるようにしてほしい／介護認定を迅速に行ってほしい／ケアマネジャーの教育をしっかり行ってほしい／介護施設の増設・拡充をすべき／年金で入所できる介護施設があるとよい／高齢者住宅・マンションがあるとよい／介護者への費用的援助をしてほしい／在宅での</p>

	<p>看取りの支援が必要／見守りキーホルダーについてPRすべき／見守りキーホルダーはしっかりとした物にしてほしい／高齢者のための施設を充実してほしい（高年者センター・中心地に高齢者向け入浴施設含む）／身近なところで高齢者向けの講座等があるとよい／老人ホームと保育施設を隣接化してほしい／高齢者施策に資金を使いすぎ／年金制度が不安／年金について生活が苦しい／サラリーマンの妻も国民年金を支払うべき／国民健康保険料が高い／国民保険について手続きしやすくしてほしい</p>
<p>子育て</p>	<p>市民全体で子どもを見守り育む体制を整えるとよい／子どもが安全安心に過ごせる設備・制度を充実すべき／子ども関連の市のサービス・対応はよい／子育て世代へのサービス向上／子育て支援に偏り過ぎである／働く女性に配慮した子育て支援施策が必要／子育てしやすい／少子化対策を強化してほしい／赤ちゃん訪問は新生児訪問に変えてほしい／父子家庭への手当てが必要／保育園に入園できない／保育園に入園できるか不安／保育園の職員を増やしてほしい／保育園への入園手続きを簡素化してほしい／延長保育を行ってほしい／待機児童ゼロは素晴らしい／保育行政が遅れている／無就労者の保育園利用をなくしてほしい／保育園行事の平日開催を廃止してほしい／保育園料三人目無料は廃止すべき／幼稚園入園時の支援を考えてほしい／幼稚園・保育園を義務教育化してほしい／幼稚園・保育園を増やしてほしい／幼稚園の定員を増やしてほしい／収入に関係なく幼稚園の補助を出してほしい／私立幼稚園の駐車場を増やしてほしい／子育て支援センターが狭いため公民館も活用してほしい／子育て支援センター等の遊具を増やしてほしい／六ツ美地区に子育て支援センター等を作ってほしい／「よりなん」のプレイルームの対応が悪い／「よりなん」を続けてほしい／3歳～幼児向けのプレイルームが必要／げんき館等で保育士の相談がない／ファミリーサポートセンターについて他のところでも登録できるようにしてほしい／ファミリーサポートセンターを民営化する／子どもを預けられる場所を確保してほしい／放課後に校舎内にとどまるとよい／学童の家をきれいにしてほしい／児童クラブを作ってほしい／児童育成センターの開所時間を早めてほしい／子どもが室内で遊べる施設を作ってほしい／太陽の城の取り壊しは残念／子どもが遊んだり学ぶ施設がない／子どもを大切にする施設が少ない／子どもが思い切り遊べる施設が必要／子どもや子育て世代が学校以外で教育や文化に触れる施設が必要／子どもの居場所を作ってほしい</p>

3 自然と調和した環境にやさしいまちづくり(環境共生都市の実現)

地球環境	自然を壊さないでほしい・残してほしい／便利な街と豊かな自然を両立し続けてほしい
生活環境	ごみのないまちにしたい／PM2.5 対策が遅い／草等を燃やす人が多く困る／河川のごみ回収を行ってほしい／矢作川をきれいにすべき／畑周辺の除草・美化を進めてほしい／空家・休耕田等の雑草等を何とかしてほしい／地域生活環境予算を公平に／ごみ焼却熱を有効利用すべき／中央クリーンセンターが遠い／白いレジ袋でもゴミを回収してほしい／分別ごみ回収場所を設置してほしい／ビン・カン BOX を導入してほしい／ごみの分別が不十分／土曜日にゴミ収集をやらないでほしい／ゴミ収集はよくやってくれている／ゴミ回収場の散乱について対応してほしい／マンション敷地内のごみステーションで回収してほしい／不燃ごみの持ち去り対策が必要／産廃業者の認可・指導を適切に／千万町のかやぶきが来年で終わるのはショック

4 賑わいと活力あるまちづくり(経済の振興)

<p>商工業</p>	<p>商工業と観光業は市の発展に資する／他市より優れた産業がない／駅周辺に商業施設が必要／ホテルが少ない／ホテルを誘致するとよい／大型商業施設があるとよい／りぶら周辺にカフェを作ってほしい／娯楽施設の誘致・建設／集客施設を作ってほしい／商店街を活性化してほしい／商業地が中心部にしかない／周辺地域に商業施設が必要／買い物支援をしてほしい／買い物施設がない／買い物が不便／高齢者の見守りを含むコミュニケーションのとれる小売店が地域にあるとよい／市の中心部の活性化を進めてほしい／康生町・本町通りの活性化／康生町に若者を呼びたい／康生町の駐車料金を補助してほしい／シビコを残してほしい／康生地区を再開発すべき／市に元気がない／市の催事・イベントは一部の人しか参加していない／イベント開催を充実してほしい／参加型イベントを増やす／懐メロのイベントを企画してほしい／市民が豊かな時間を過ごせる催しをやってほしい／イベント参加促進策を行うべき／市北部に商業施設があるとよい／広い土地を商業・レジャー施設にすべき／工業・農業・林業を振興してほしい／企業・工場を誘致してほしい／県全体で雇用が伸びるとよい／雇用促進の充実・若者の働く場所の確保／職場のメンタルヘルス対策を進めてほしい／中高年の就労支援を検討してほしい／市の補助を受けて泊れる保養所があるとよい／働きやすいまちづくりをして人口増加を／働き世代への恩恵を感じられない</p>
<p>農林業</p>	<p>耕作放棄地対策の充実／市内で使う水・木材・食糧は市内で生産する／道の駅藤川宿の活性化／藤川宿に魅力がない／農遊館を各地に設置してほしい／ため池の整備／山林行政を振興してほしい／森林整備に従事したい／農村・河川等の保全をすべき／山間地域の別荘等を活用すべき／中山間地域への人の流入を図る</p>
<p>観光</p>	<p>観光地としての魅力を向上すべき／観光収入を見込んだまちづくりを進めてはどうか／観光資源を活用してリピーターを増やす施策が必要／観光地を作ってほしい／現在の観光事業は税金の無駄である／流行を先取りした取組をすべき／歴史的観光資源を活用する／岡崎城周辺を観光向けに整備するとよい／東岡崎～康生町～岡崎公園～八帖の一体を観光アピールすべき／ロケ地としての交渉窓口を設置する／家康を顕彰してほしい・PRしてほしい／城下町を売りにすべきである／武将隊は不要／武将隊は効果があるのか／武将隊を活用するとよい／岡崎まぜめんのPRや商品開発をすべき／アウトドアスポーツ施設を増やして観光PRしてほしい／額田にテーマパークを作ってほしい／公園や文化施設の魅力がない／家康行列はマンネリ／花火大会は縮小すべき／花火大会を盛大にすべき／観光行事が増えて良い／観光イベント時にバスを増やしてほしい</p>

5 快適で魅力あるまちづくり(都市基盤・生活基盤の整備)

<p>都市魅力 生活基盤</p>	<p>まちづくりが遅れている／まちづくりの方向性をはっきりさせる／コンパクトシティを実現してほしい／シビックデザインを示してほしい／観光資源やまちなみを活かした都市計画にすべき／市街化調整区域をこれ以上解除しないでほしい／住宅地を確保してほしい／地域の開発が遅れている／地域を発展させてほしい／中央地区をもっと魅力的にしてほしい／土地の有効活用を進めてほしい／JR 岡崎駅の改善／橋の建設について市民の理解を得る努力が必要／ツインブリッジ構想は不要／殿橋の掛け替えで龍のオブジェは必要なのか／東岡崎駅の改善・整備／東岡崎駅周辺の区画整理を早期実現すべき／駅前・駅周辺の活性化（JR 岡崎駅・名鉄東岡崎駅・岡崎公園前駅）／太陽の城跡地を有効利用すべき／松坂屋の跡地はマンションと市役所と商業施設等の複合施設にすべき／まちなかにベンチ・イスを置いてほしい／道の駅ができて良かった／道の駅の休憩機能を強化してほしい／街並みが美しい／景観がよくない／景観維持のため建築制限すべき／公園がない・公園を整備してほしい／安心して遊ばせられる公園を整備してほしい／公園が良く整備されている／公園のトイレがきれい／公園の駐車場が足りない／公園の遊具・建屋の点検を充分に行うべき／公園の遊具を増やしてほしい／公園にドッグランを作してほしい／プールを作してほしい（流水・温水）／公園に健康器具を設置してほしい／公園等を利用しやすくしてほしい／自然あふれる公園施設がよい／整備途中の公園の管理を行うべき／まちなかの緑化を進めてほしい／JR 岡崎駅前の緑化／岡崎城のお堀などの美化・清掃／動物を増やしてほしい／街路樹の伐採はすべきでない／街路樹の本数が多すぎる／街路樹の落ち葉対策を進めてほしい／街路樹の剪定は美しく／街路樹を剪定すべき／紅葉前に街路樹や公園樹木を剪定すべきでない／桜並木・街路樹を元に戻してほしい／河川整備を進めてほしい／市民が親しみのもてる河原にしてほしい／自然を利用した河川改修を行うべき／道や河川の清掃が不十分／河川敷を整備・利用してほしい／大谷池の噴水は必要なのか／下水道料金が低い／水道料金が低い／「岡崎市の水」を自販機で販売する</p>
<p>快適移動社会</p>	<p>バスを充実してほしい／バスの路線を増やしてほしい／まちバスがあつてありがたい／まちバスが交通の便の良い所にある／まちバスが通っていない／まちバスのルートを広げてほしい／まちバスが無くなり不安／まちバスの最終便を遅くしてほしい／まちバスは利用する地域ではない／まちバスより老人バスを発行すべき／必要なバス路線は存続してほしい／豊田市へのバスがない／名鉄バスとまちバスのエリアを分けるべき／利用状況が悪ければまちバスの廃止も検討すべき／愛知環状鉄道大門駅のホームが狭い／駅のバリアフリー化を進めてほしい／交通が不便／交通の便を良くしてほしい／交通渋滞の解消／渋滞対策は良い／公共交通機関を充実すべき／市の無料バスがあるとよい／市北部にスマートインターを設置してほしい／施設近くにバス停を設けるべき／車がないと交通が不便／車の乗り入れが不便／世界に誇れる交通システムがあるとよい／中岡崎駅のトイレを改善してほしい／鉄道・</p>

道路の利便性を向上してほしい／鉄道利便性を向上してほしい／鉄道駅へのアクセスを向上してほしい／名鉄と JR を近くにしてほしい・一緒にしてほしい／交通網の整備／幹線道路の整備／道路網の整備／計画してから 40 年経っても実行されない道路計画は廃止すべき／矢作川堤防道路の整備／開かずの踏切を高架にほしい／無駄な橋が多い／橋の整備が必要／国道 248 号と県道 293 号の交差点に陸橋を作してほしい／新しい道路が多すぎる／安全に通行できる道を整備してほしい／路上の違法看板を何とかしてほしい／細い道路や生活道路を整備すべき／散歩道を整備してほしい／高齢者が歩きやすい道を整備してほしい／自転車が安全に通行できる道を整備してほしい／整備した道に中央分離帯があるため不便／騒音対策を進めてほしい／騒音を出す二輪を取り締まってほしい／地下道を改修してほしい／道路がよく整備されている／道路のライン・横断歩道が見えにくい／道路の危険箇所対策が進んでいる／道路の除草をしてほしい／道路の側溝を整備してほしい／道路や歩道の舗装が悪い／歩行者と自転車を主とした道路整備をしてほしい／歩道橋が少ない／毎年同じ道路を工事していて困る／矢作川の土手の道路の歩車道分離をすべき／工事車両の駐車の方法が良くない

6 未来を拓く人を育むまちづくり(教育・文化の振興)

<p>学校教育</p>	<p>いじめのない学校・地域を作ってほしい／いじめをなくす勉強会等を学校教育に取り入れてほしい／いじめへの対応が悪い／英語教育に力を入れてほしい／学区の見直しをしてほしい／学区を自由化してほしい／学校が遠い／学校でかかるお金を補助してほしい／学校に冷暖房施設を整えてほしい／校舎に太陽光発電を設置して冷暖房対策とする／学校のトイレを洋式にしてほしい／学校のトイレ改修は良かった／学校等の耐震工事に伴う負担が大きい／学校の水道水が飲めるようにしてほしい／学校の老朽化が不安／学校給食が台風等ですぐ中止となるのはよくない／給食費の無料化には反対／教師の質の向上／公園等の清掃を児童にやらせる／社会性が身に付く教育の充実を／小学校の部活を廃止しアフタースクールを開設してほしい／小学校を増やしてほしい／小中学校の振替え休日を減らしてほしい／通学路が危険／通学路を安全にしてほしい／学童の登下校時の安全確保を進めるべき／通学路の管理が必要（除草・照明など）／日本人の心の醸成が必要／市周辺部は中心部より教育面で遅れている／高校を作ってほしい／高校教育の充実／公立の中高一貫校を設立すべき／中高私立学校を設置すべき／全国有名私大の附属高校があってもよい／私立高校・専門学校の授業料補助を増やしてほしい／医療・福祉が学べる学校を作ってほしい／市内大学に観光学部・福祉学部の新設を交渉すべき</p>
<p>生涯学習 スポーツ</p>	<p>ウォーキング・マラソンのできる安全な場所が必要／お金を掛けずにスポーツで健康維持できる取組を進めてほしい／スポーツ施設の夜間利用ができるようにしてほしい／スポーツ施設を作ってほしい（フットサルコート・テニスコート・サッカー場・グラウンドゴルフ場・スケートリンク・陸上競技場）／プロクラブの試合を誘致してほしい／プロスポーツ選手との交流を行ってほしい／駅伝やマラソン大会を開催してほしい／学校のグラウンド等の土日祝日の開放／額田地区に運動・宿泊施設を作ってほしい／生涯スポーツを進めてほしい／生涯学習やスポーツが土日に行われていない／中央総合公園の充実／夜間に参加できる生涯学習を充実させてほしい／河川敷をサッカーができるよう整備してほしい／子ども会のスポーツをフットベースボールからフットサルに変えてほしい／市民センターに若い正職員を採用してほしい</p>
<p>文化</p>	<p>岡崎の歴史と文化を活かした施策が必要／文化・演劇を活性化してほしい／オカザえもんはよい／オカザえもんをやめるべき／オカザえもんはよくない／オカザえもんを可愛くすべき／オカザえもんを公認してほしい／オカザえもんを更に活用してほしい／オカザえもんのさらなるアピール／旧本多忠次邸は不要／旧本多忠次邸は効果があるのか／あいちトリエンナーレの内容を理解できない／あいちトリエンナーレはもっとアピールしたり工夫が必要／あいちトリエンナーレは良かった／ジャズストリートだけでは文化振興と思えない／ジャズは子どものゆとりに直結しない／市民文化活動へ助成してほしい／公園や文化施設の魅力がない／文化事業として</p>

吹きガラス工房を続けてほしい／市民センターは有料化してから活気がない／リブラが県内他市で例のない所と知らなかった／リブラの講座等の募集人数が少なすぎる／リブラの駐車場が少ない／リブラの駐車料金を見直してほしい／リブラは満足（サービス・デザイン等）／リブラ職員の対応・サービスが悪い・リブラ職員の配置が悪い／市立図書館で購入・閲覧している雑誌等がくだらない／図書館が遠い／地域に図書館を作ってほしい／図書館の閲覧席が高校生に占有されており不愉快／図書館の図書等の貸出は有料にすべき／図書館を充実させてほしい／節電のため夏季のリブラで空調が止まっていた／芸術や音楽を楽しめるホールが必要／文化的な施設が少ない／市美術館・博物館の魅力向上／市美術館と美術博物館が紛らわしい／市美術館にレストラン等を作ってほしい／美術館は利用が期待できない／美術博物館のトイレは手すりがなく利用しにくい／市民会館を移転すべき／市民会館を新築・改築・改修すべき

7 将来まで自律した状態が続く都市経営(自律した都市経営の実践)

<p>参加と協働</p>	<p>情報が入手しにくい／市民の意見を把握してほしい／行政サービスを受けられない・受けない人から意見を聴取すべき／少数意見も聞いてほしい／若い世代の意見を取り入れるべき／市民の意見を吸い上げる制度があるとよい（公聴会等）／一般市民の要望を伝えたい／広報は白黒にすべき／市政だよりが読みやすくなった・読みやすい／市政だよりの改善／市政だよりの書き方を変えないでほしい／市政だよりは配布・郵送すべき／市政の状況を知らせてほしい／高齢者が行政に参加しやすくしてほしい／個人が行政に関心を持つことが大切／市政の状況がわからない／市議会だよりが分かりにくい／市議会の内容を詳しく載せてほしい／市の施策や事業等のPRが必要／MICSの放映内容を改善する／一般市民に市長の行政を見学・体験させる／議員の行動などが分からないため意見できない</p>
<p>効率的な行政経営</p>	<p>岡崎が好きと言える人が増えるとよい／岡崎市をもっとよくしてほしい／時代の流れに対応したまちづくりを進めてほしい／市のさらなる発展を期待している／素敵なまちである／人口を増やさないでほしい／住みやすい市にしてほしい／住んで良かったと思えるまちにしてほしい／行政が他市より遅れている／岡崎の独自性を出してほしい／岡崎市は他市の模倣が多い／保守的にならず独創的な市政を行ってほしい／日本中から注目されるまちづくりを目指してほしい／行政が行うものと民間に任せるものを分ける／行政サービスを減らす／長期のビジョンを持って市政を行うべき／将来につながる施策を進めるべき／次世代が住みやすい市にしてほしい／行政施策に地域差がある／国の行政機関との連携及び協力要請等の迅速な対応を希望／市の施策の満足度の向上に努めてほしい／市のやるべきことは総合的に判断してほしい／市民全員に関わる分野に資金を投入すべき／公平な行政をしてほしい／中核市として存在感を増すよう努力してほしい／中核都市としてのまちづくりが分かりにくい／土日祝日に公共機関をやってほしい／文化・教育・医療の投資は小規模に分散すべき／岡崎市を全国的にPRする必要がある／全国的にアピールできるまちにしてほしい／市のシンボル・象徴を決めてほしい・市のメインとなるシンボルを作してほしい／行財政の効率化と財政基盤の強化／財政の健全化をすべき／家計簿をつけて節約術を見つけてほしい／市政の効率化・コスト削減／税金の無駄遣いをなくす／税金の使途を注意すべきである／公用車は軽自動車にすべき／税金が高い／減税してほしい／居住地以外の固定資産税をアップすべき／来年より消費増税で苦しい／公務員の給与をカットする／税収が少ない時は職員のボーナスも考える必要がある／財政をどのようにしようとしているのか／市職員の対応の向上／市職員のスキルアップ／市職員の外部評価を導入すべき／市職員は現場第一主義で行動すべき／公務員の自覚を持つ／市職員に嘱託・再任用が多いため雇用形態を見直す必要がある／市職員の対応がよい／市役所の職員が多い／市役所の休日窓口の職員数が多すぎる／市職員の福祉事業団への天下りに疑問がある／不正がないように／行政サービスを適正に／市民が市政を監視できる仕組みが必要／人事を適正にして</p>

ほしい／職員採用が縁故関係ではないか／市政に携わる方の働きに感謝／県や他の市町村と協力すべき／幸田町と合併してはどうか／市の施設を統廃合すべき／無駄な施設等が多い／保健施設の統合・効率化をすべき／施設を長く使えるよう維持管理してほしい／市役所の建物が立派過ぎる／既存の施設を利用できないか検討すべき／公共施設が古い／公共施設の駐車場が狭い／公共施設を分散させるべき／市の施設を周辺地域にも作るべき／市の施設に魅力がない・利用しにくい／市の施設は集中させるべき／市の施設は民間に活用させるべき／施設より内容が重要／多くの市民が望む施設・利用できる施設を充実してほしい／箱物建設が多い・作るべきではない／市議と市長に期待している／市議は市の向上に努めるべき／議員歳費の無駄をなくしてほしい／議会の議論内容がおかしいと思うことがある／市会議員が地区に少ない／市議が高齢化している／市議と議員を取り巻く市民で市政が運営されている／市議の人数を減らす／市議の人数が多い

参考：調査票

平成 25 年度市民意識調査

- あなたの声をお寄せください -

日頃は、市政にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

このたび郵送させていただいた市民意識調査は、岡崎市の市政について市民の皆さんからご意見やご提言をいただき、本市のまちづくりに反映していくことを目的として実施させていただくもので、市内にお住まいの 20 歳以上の方から無作為に選定させていただいた 5,000 人の方にご協力をお願いしております。

お忙しいところ大変恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願い申し上げます。

平成 25 年 9 月

岡崎市長 内 田 康 宏

ご記入にあたって

- ◎ できるだけあて名のご本人が、ご回答くださいますようお願いいたします。
ご本人がご回答できない場合は、ご家族がお答えくださいますも結構です。
- ◎ ご回答は、この調査票の 2 ページ以降に、直接、ご記入ください。
- ◎ ご記入が済みましたら、10 月 11 日（金）までに、同封の返信用封筒に入れて、切手をはらずに、ご投函ください。
- ◎ アンケートの結果は、統計的に処理しますので、ご回答くださいました方にご迷惑をおかけすることはありません。

問い合わせ先

岡崎市役所 企画課企画班 電話 (0564) 23-6812

A あなた自身のことについておたずねします

問1 あなたの性別をお答えください(番号を○で囲んでください)。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 あなたの年齢をお答えください(番号を○で囲んでください)。

- | | |
|---------|----------|
| 1. 20歳代 | 2. 30歳代 |
| 3. 40歳代 | 4. 50歳代 |
| 5. 60歳代 | 6. 70歳以上 |

問3 あなたの職業をお答えください(番号を○で囲んでください)。

- | | |
|------------------------------|------------|
| 1. 勤め人(常勤) | 2. 学生 |
| 3. 自営業・家業(農林業、商業、工業、サービス業など) | |
| 4. パート・アルバイト | 5. 専業主婦(夫) |
| 6. 無職 | 7. その他() |

問4 あなたが、市内にお住まいになっている年数(市外へ転出され戻られた方は通算の年数)をお答えください(番号を○で囲んでください)。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 5年未満 | 2. 5年以上10年未満 |
| 3. 10年以上20年未満 | 4. 20年以上30年未満 |
| 5. 30年以上 | |

問5 一緒に住んでいるあなたの家族構成は、次のうちどれに当てはまりますか(当てはまるもの全ての番号を○で囲んでください)。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 3歳以下の同居家族がいる | 2. 4～18歳の同居家族がいる |
| 3. 19～64歳の同居家族がいる | 4. 65歳以上の同居家族がいる |
| 5. 夫婦のみである | 6. 同居家族はいない(単身である) |

問6 あなたはどちらにお住まいですか。お住まいの地域(支所区域)をお答えください(番号を○で囲んでください)。別添の参考資料の表紙に掲載している地図を参考にしてください。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 中央地域 | 2. 岡崎地域 |
| 3. 大平地域 | 4. 東部地域 |
| 5. 岩津地域 | 6. 矢作地域 |
| 7. 六ツ美地域 | 8. 額田地域 |

↓

※お住まいの地域名が分からない場合は、町名をご記入ください。() 町)

B 岡崎のまちについておたずねします

問7 あなたは、岡崎市を住みよいまちだと思いますか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

1. 住みよい 2. まあ住みよい	3. やや住みにくい 4. 住みにくい
↓ 問7-1にお進みください	↓ 問7-2にお進みください

問7-1 それはどういった理由からですか。次の中から主なものを最大3つまで選び、その番号を○で囲んでください。

1. 交通の便がよい
2. 買い物が便利である
3. 公害が少ない
4. 下水道などの基盤整備がよい
5. 災害の危険性が少ない
6. 犯罪が少なく風紀がよい
7. 緑や自然環境が豊かである
8. 近所づきあいなどの人間関係がよい
9. 教育など子どもを育てる環境がよい
10. 医療や福祉環境が充実している
11. 文化やスポーツの機会に恵まれている
12. まちに魅力や活気がある
13. その他()

問7-2 それはどういった理由からですか。次の中から主なものを最大3つまで選び、その番号を○で囲んでください。

1. 交通の便が悪い
2. 買い物が不便である
3. 公害により環境が悪い
4. 下水道などの基盤整備が遅れている
5. 災害に対する不安が大きい
6. 犯罪に対する不安が大きい
7. 緑や自然環境が少ない
8. 近所づきあいなどの人間関係がよくない
9. 教育など子どもを育てる環境がよくない
10. 医療や福祉環境が不足している
11. 文化やスポーツにふれる機会が少ない
12. まちに魅力や活気がない
13. その他()

D 市の取組に対する満足度・重要度についておたずねします

問12 あなたは市の行政施策について、どのようにお考えですか。以下のそれぞれの取組に係る「現状の満足度」と「今後の重要度」について、あなたのお考えに最も近いものをそれぞれ1つずつ選び、その番号を○で囲んでください。

なお、各施策についてこれまで行ってきた取組を別添の参考資料に紹介していますので、そちらを参考にご回答ください。

設問項目		現状の満足度					今後の重要度				
		満足している	やや満足している	どちらとも言えない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない
	(例)〇〇の充実	1	②	3	4	5	1	②	3	4	5
地域社会 市民生活	1. 市民自治の実現	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2. 市民生活の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3. 安全社会の構築	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	4. 防災体制の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
保健・医療・福祉	5. 保健衛生の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	6. 地域医療の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	7. 地域福祉の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	8. 障がい者福祉の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	9. 高齢者福祉の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	10. 児童福祉の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	11. 社会保障の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
環境共生都市	12. 自然環境の保全と活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	13. 良好な生活環境の確保	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	14. 地球環境の保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	15. 環境行動の実践	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

設問項目		現状の満足度					今後の重要度				
		満足している	やや満足している	どちらとも言えない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない
★ 経済	16. 商工業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	17. 農林漁業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	18. 観光の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
♣ 生活基盤・都市基盤	19. 都市魅力の向上	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	20. 快適移動社会の実現	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	21. 生活基盤の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
✦ 教育・文化	22. 学校教育の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	23. 生涯学習・スポーツの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	24. 文化の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
♠ 経営都市	25. 参加と協働による市政の運営	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	26. 効率的な行政経営の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
27. 市の取組全般の総合評価 (上記1から26全体の評価)		1	2	3	4	5					

E あなたの自由なご意見をお聞かせください

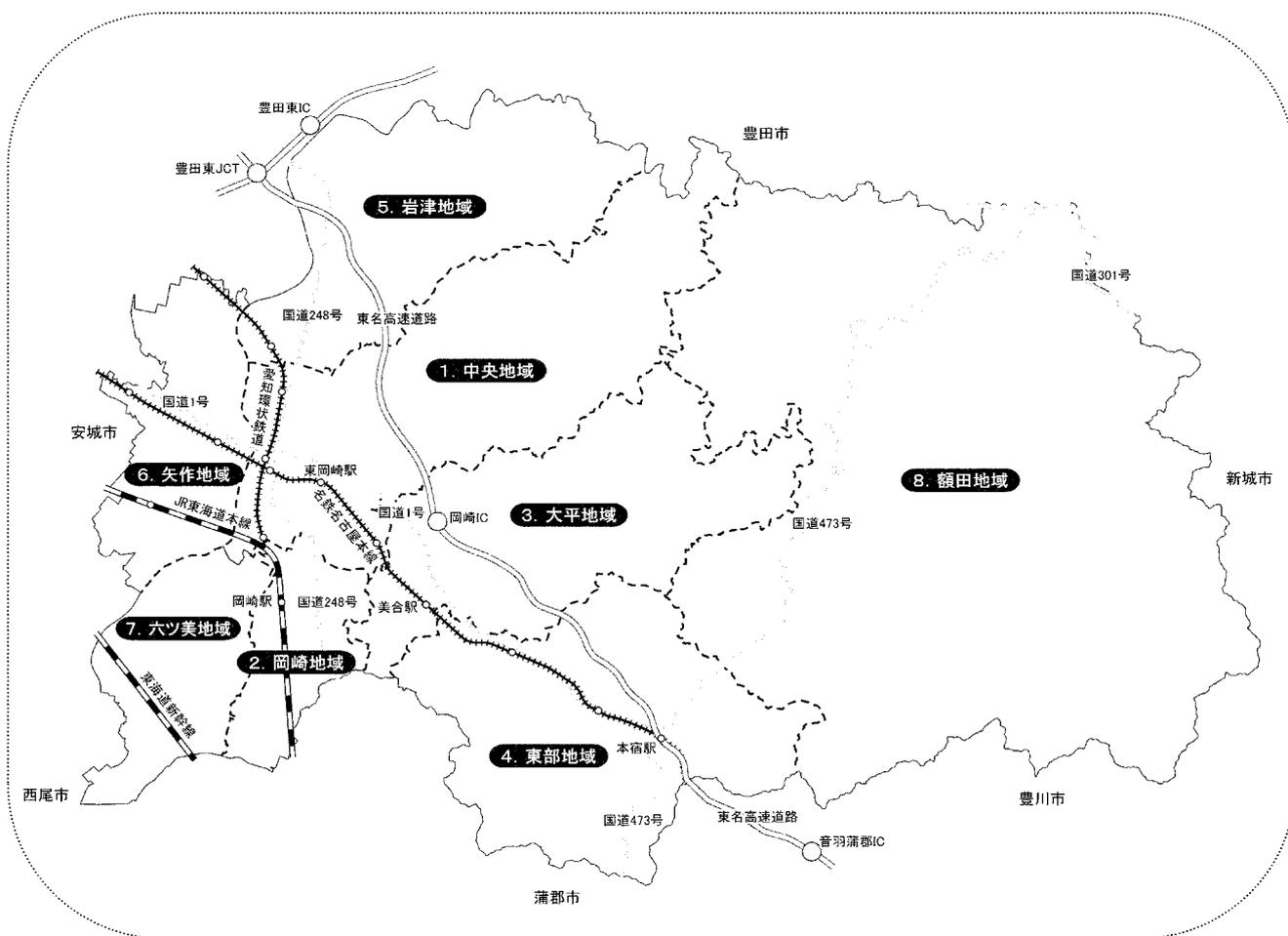
問13 岡崎市の行政施策について、ご意見・ご提案がございましたら下欄にご記入ください。

設問は以上です。最後までご回答いただき、ありがとうございました。
調査票は、同封の返信用封筒に入れてご返送ください。

なお、別添の参考資料に、これまでの取組をご紹介します。
問12のご回答の参考にしてください。

参考資料

下の地図は、問6 お住まいの地域のご回答の際に参考にしてください。



問12の参考資料:これまでの取組

(H20満足度・H23満足度の各欄には、当時の調査で「満足している」と「やや満足している」の合計が記入してあります)

設問項目		H20 満足度	H23 満足度	これまでの取組
<p>◆</p> <p>市民生活・地域社会</p>	1 市民自治の実現	23.9%	28.8%	市民活動が活発化するよう、地域コミュニティの充実、ボランティア・NPOの充実、市民参加・協働の推進に努めています。県内他市で例のない5箇所(リブラ、地域交流センター)で市民活動の支援を行っています。
	2 市民生活の充実	34.6%	38.7%	充実した生活のために、市民相談の充実、男女共同参画の推進、国際化・多文化共生の推進に努めています。岡崎市DV対策基本計画を策定し市民の皆様の支援を行っています。
	3 安全社会の構築	30.7%	38.3%	防犯教室の開催や防犯ボランティア団体に活動資材を配布し、地域ぐるみの防犯活動の実践を支援しています。また、道路区画線、カーブミラー、ガードレール等の交通安全施設の整備と管理及び事故多発交差点対策を実施しています。
	4 防災体制の充実	34.8%	35.1%	浸水・地震対策として、河川改修及び雨水ポンプ場の建設、浸水警報装置の整備等を推進するとともに、防災マップの全戸配布や自主防災活動説明会の開催等を行い、災害に強いまちづくりを目指しています。
<p>◆</p> <p>保健・医療・福祉</p>	5 保健衛生の充実	42.6%	43.9%	岡崎げんき館の管理・運営や、食育の推進を通じて、市民の皆さんの健康配慮を促しています。また、母子感染の防止や、妊娠中毒症・貧血所見の早期発見だけでなく、母体と胎児の「異常の早期発見」と「保健指導」に重点を置き、公費負担の妊婦健康診査回数を14回に増やして支援を拡充してきました。
	6 地域医療の充実	40.9%	42.1%	安心して暮らせる医療体制を推進するため、医療相談ができる医療安全支援センターを設置しました。また、妊娠中から小児科医に相談できる「すこやかベビー小児科相談」や4か月児健康診査の個別健診を実施しています。市民病院では地域医療支援病院となり、かかりつけ医など地域医療機関との連携や支援を行っています。
	7 地域福祉の推進	27.2%	25.2%	第2次地域福祉計画を策定し、地域福祉活動の充実、福祉基盤の充実に努めています。平成23年度には全学区に学区福祉委員会が設立されました。また、平成24年度から災害時要援護者の緊急時に備え、あんしん見守りキーホルダーの配付を始めました。
	8 障がい者福祉の充実	20.0%	22.9%	障がい児・者が生きがいを持ち安心して暮らせるよう、福祉サービスの充実、社会参加と自立支援に努めています。福祉の村の施設機能再編、発達障がい支援を含めた「こども発達センター等基本計画」を策定し、その整備を推進しています。
	9 高齢者福祉の充実	23.7%	25.4%	高齢者が安心して暮らしていけるよう、福祉・介護サービスの充実、社会参加と自立支援に努めています。平成24年度末の認知症サポーター養成数は、県内では名古屋市に次いで2番目となっています。
	10 児童福祉の充実	30.4%	33.8%	生後4か月までの赤ちゃん訪問から保育サービスの充実(保育時間延長・保育所を利用しない児童への一時保育)、小学生を対象とする児童クラブの整備、放課後の居場所づくりなど未来を担う子どもの健やかな育ちのため、全ての子どもと子育て家庭を対象に児童福祉の充実に努めています。
	11 社会保障の充実	18.6%	25.3%	市民の皆さんが安心して暮らすことができるように、公的医療保険・助成制度や生活保護制度の適切な運営に努めています。国民健康保険では、健康維持・増進のため、40歳以上が対象の健診を岡崎市独自に30歳代にも拡大して健診機会を設けるとともに、健診のコースを複数用意して、受診しやすい環境を整えています。

問12の参考資料:これまでの取組

(H20満足度・H23満足度の各欄には、当時の調査で「満足している」と「やや満足している」の合計が記入してあります)

設問項目		H20 満足度	H23 満足度	これまでの取組
♥ 環境共生都市	12 自然環境の保全と活用	35.8%	36.8%	豊かな自然環境の保全や、自然とのふれあいの場の形成を目指して「水とみどりの森の駅」を整備するなど、水と緑豊かな自然とふれあえるまちづくりを進めています。
	13 良好な生活環境の確保	36.2%	38.5%	快適で良好な生活環境が確保できるよう、公害の防止、健全な水循環の推進、廃棄物事業者の指導、環境調査の強化に努めています。特に、乙川サミットの開催、航空画像の解析による不法投棄監視、PM2.5測定機器の導入などを新たに行いました。
	14 地球環境の保全	21.9%	25.9%	太陽光発電、家庭用燃料電池など新エネルギーシステムの購入費補助や、ごみ減量のための生ごみ処理機の購入費補助、地域で行われる資源回収への支援を通じて、環境保全活動の推進に努めています。
	15 環境行動の実践	27.4%	20.2%	環境基本計画に基づいた市民協働プロジェクトの実践や、環境問題への理解を深めてもらうための社会、学校における環境学習等講座の実施を通じて、環境への意識を高めています。
★ 経済	16 商工業の振興	16.9%	16.8%	リーマンショック、東日本大震災後の急速な経済収縮期において、中小企業向け融資制度や補助を拡充し、円滑な資金の供給に努めました。また、岡崎市東部工業団地に企業の誘致を行い、産業の活性化、雇用の増大を図りました。
	17 農林漁業の振興	9.6%	10.5%	地産地消の推進(農遊館・ふれあいドーム・道の駅・農林業祭)、新規就農支援(農業塾)、ふれあい体験(各種教室、市民農園)や、森林整備による木材生産支援及び水源の保護に積極的に取り組んでいます。
	18 観光の振興	21.4%	24.9%	市への来訪者増加をめざして、観光事業の推進、観光交流の促進に努めています。伝統ある桜まつり、花火大会の開催や、家康公の甲冑を着用した武将隊を平成23年度から編成し、観光宣伝を行っています。
♣ 都市基盤・生活基盤	19 都市魅力の向上	21.1%	27.0%	都市の魅力向上のため、計画的な土地利用、市街地の整備、景観の保全・整備に努めています。平成24年度には、藤川地区に愛知県内の国道一号沿線では初めてとなる「道の駅藤川宿」を始め、「東部地域交流センター」を整備しました。
	20 快適移動社会の実現	18.9%	22.2%	快適に移動できる社会の実現を目指し、公共交通ネットワークの充実、道路網の整備、生活道路の整備に努めています。運転のできない人でも通院や買い物ができるよう、赤字路線補助やコミュニティバスの運行によりバス路線網を確保しています。
	21 生活基盤の充実	26.1%	29.3%	市民の皆さんが安全で快適に暮らせるよう、公園、河川、住宅、上下水道などの整備・維持管理に努めています。岡崎市1人あたり公園面積や、木造住宅耐震改修戸数、下水道普及率、都市浸水対策達成率、水道普及率のすべてにおいて県内平均を上回っています。

問12の参考資料:これまでの取組

(H20満足度・H23満足度の各欄には、当時の調査で「満足している」と「やや満足している」の合計が記入してあります)

設問項目		H20 満足度	H23 満足度	これまでの取組
✦ 教育・文化	22 学校教育の充実	28.3%	33.4%	児童・生徒が心身ともに健全に成長するよう「英語教育」「環境教育」「岡崎の心の醸成」を三本柱に、岡崎独自の教材を活用し生きる力を育む教育を推進するとともに、校舎耐震化など安全安心な教育環境整備も実施しました。
	23 生涯学習・スポーツの推進	29.3%	25.4%	市民の皆さんが生涯にわたり学習、スポーツに取り組めるよう、生涯学習、スポーツの機会の提供に努めています。また、平成20年に開館した図書館交流プラザりぶらを中心に市民と協働して講座等も運営しています。
	24 文化の振興	25.1%	23.9%	教育・文化の担い手となる人材の育成のため、文化財の保存・活用、文化事業推進に努めています。また、新文化会館建設が現市民会館の長寿命化を図るのか、検討をはじめました。旧本多忠次邸の復原、悠紀の里を整備、「あいちトリエンナーレ2013」開催を契機に岡崎アート広報大臣(オカザえもん)を任命し、市の魅力を発信しています。
▲ 都市経営	25 参加と協働による市政の運営	15.3%	15.9%	市民の皆さんが市政に対する理解を深められるよう、市政情報の積極的な提供に努めています。その取組みの一環として、愛知県広報コンクール広報紙部門に参加し、最優秀賞である特選を受賞したことを始め各種の賞を受賞しました。
	26 効率的な行政経営の推進	14.7%	13.6%	政策・施策が高い効果をともなって行われるよう、成果重視の行政経営推進や、健全な財政運営の推進に努めています。特に財政状況を表す統一指標(健全化4指標)では、全国的にみても上位の健全さを保っています。

岡崎市市民意識調査 報告書

平成 26 年 2 月発行

岡崎市企画財政部企画課

岡崎市十王町 2 丁目 9 番地

TEL 0564-23-6812